

県民参加による 「森林環境の保全」と 「森林と共生する文化の創造」 をめざして



愛 媛 県

目 次

I	愛媛県森林環境税導入の経緯	1
II	森林環境税を活用した施策の仕組み	5
III	森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値	7
IV	平成18年度事業実績	
1	事業総括表	8
2	事業別実績	
(1)	県指定事業	
	・源流の森整備保全事業	9
	・集落防災緊急森林整備事業	11
	・流木等防止山地保全事業	13
	・里地里山再生モデル事業	15
	・木の香る環境づくり促進事業	17
	・木に親しむ学び舎づくり促進事業	19
	・木質バイオマス利用促進事業	21
	・えひめ産材住宅普及啓発事業	23
	・公共施設木材利用推進事業	25
	・県立学校校舎整備事業	27
	・県民と森との交流促進事業	29
	・県民参加の森設置・提供事業	33
	・「森はともだち」推進事業	36
	・自然観察会開催事業	38
(2)	公募事業	
	・県民参加の森づくり公募事業	39
	資料編	
	・税制度の概要	83
	・愛媛県森林環境税条例	84
	・愛媛県森林環境保全基金条例	85
	・愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿	86
	・森林環境税普及啓発用ポスター・シンボルマーク	87

I 森林環境税導入の経緯

1 森林の働き

(1) 森林の持つ機能の種類

森林は、土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、洪水や渇水を緩和する機能、風害や潮害を防ぐ機能、騒音や気候を緩和する機能、安らぎや憩いの場、教育的利用の場を提供するなどの保健・文化・教育的な機能、再生可能で環境に与える負荷も少ない木材の生産機能などを有しており、有形・無形に古くから私達の生活と深く関わっています。

特に最近では、地球温暖化防止に寄与する二酸化炭素を吸収・貯蔵する機能や多種多様な動植物の生息・生育の場を提供する生物多様性を保全する機能についても国際的に関心が高まりつつあるなど、森林に対する期待は多様化・高度化してきています。

(2) 森林の機能の評価

森林の機能については、本来、そのすべてを数値で評価することは不可能とされていますが、金額に置き換えることが可能な一部の公益的機能については、平成12年9月に林野庁から74兆9,900億円とその評価額が公表されており、同じように愛媛県内の森林に置き換え算定したところ、1兆1,267億円となっています。

また、平成13年11月に日本学術会議が農林水産大臣に答申した「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価」では、年約70兆円と算定されています。

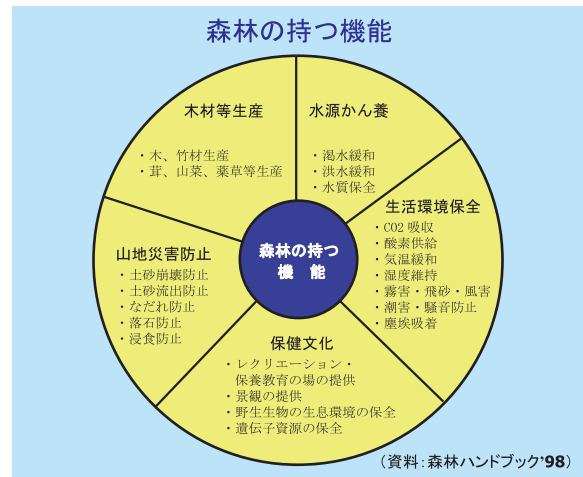
ただし、「森林の機能は総合的に発揮されるため、森林の価値を個々に評価し、単純に集計することは、森林の本質を正しく伝えられない可能性がある」こと、また「ひとつの機能を評価した場合、それ以外の機能が無視される傾向がある」こと等に注意する必要があるとしています。

(3) 機能に応じた森林の取り扱い

県では、森林が有する主要な機能である水源かん養機能、山地災害防止機能、生活環境保全機能、保健文化機能、木材生産機能の5機能を考慮し、それら機能を高度に発揮できるように、森林を

- ・「水土保全林」
- ・「森林と人との共生林」
- ・「資源循環利用林」

の3つに区分して取扱い、目的に応じた森林整備を図ることにしています。



水土保全林



森林と人との共生林

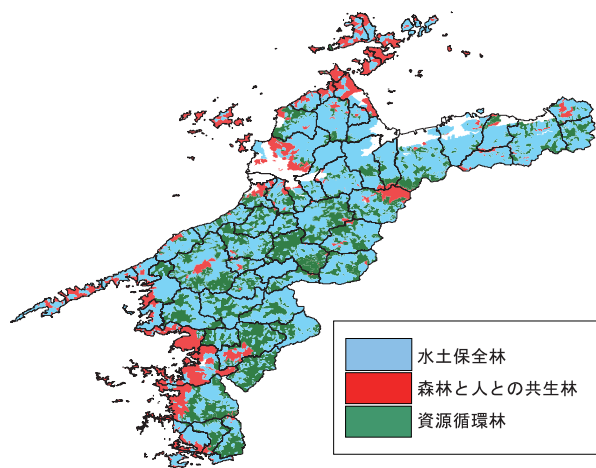


資源循環利用林



県内の森林を、このように分類すると、水土保持林が63%、森林と人との共生林12%、資源循環利用林が25%となり、水土保持林は「県内のほぼ全域」、森林と人との共生林は「人口集中地域近隣」、資源循環利用林は「中南予」に多く分布しています。

愛媛の森林整備方向



(資料：県業務資料)

2 愛媛の森林の現状

(1) 愛媛の森林の特徴

愛媛の森林は、県土面積の71% (401,000ha) となっており、うち民有林面積の占める割合は90%、残り10%を国有林が占めています。人工林率は62%となっており、全国でも上位の造林県 (平成12年8月1日現在全国第8位) で、その内訳はスギ48%、ヒノキ49%、マツその他3%となっています。

また、四国4県の森林を比較してみると、その面積が多いのは、高知県、次いで愛媛県、徳島県、香川県の順ですが、人工造林への取り組みの時期や人工林資源の成熟度は、愛媛県がやや進んでいると言えます。

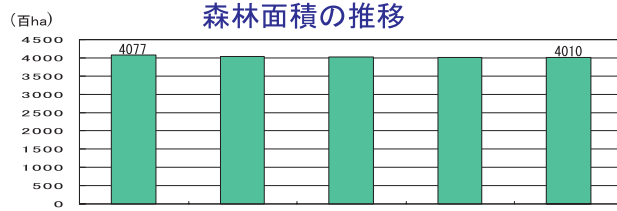
(2) 愛媛の森林の変遷

次に時系列で愛媛の森林の概要を見ると、平成14年の森林面積は昭和41年の407,700haと比べると約6,700ha減少していますが、森林の蓄積 (立木の体積) は、主に人工林の造成、成長により着実に増加しています。

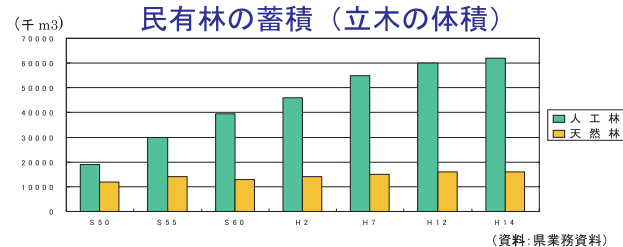
この人工林の年齢構成を見ると、昭和35年前後に植えられた41年~45年生の森林が最も多くなっています。

しかし、人工造林が急速に進展し始めたのは、第二次大戦中の昭和10年代後半からであり、戦争資材確保のための緊急伐採に加え、戦後の住宅や道路、鉄道などの復興用の木材や熱エネルギー供給のための薪や木炭の原料としての木材の伐採などによる荒廃した森林の復旧に始まったもので、国土の保全、経済の再建・復興などその時代における国の政策などに応える形で造成されてきました。このことは、人工造林の樹種が、成長が早く主に建築用材として使われるスギ、ヒノキがほとんどであることからもうかがい知ることができます。

森林面積の推移

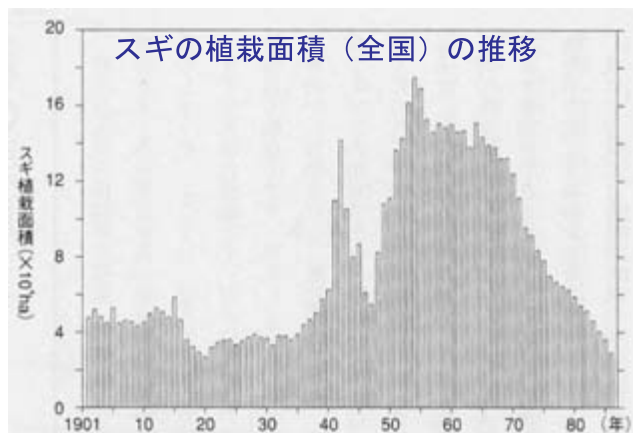


民有林の蓄積 (立木の体積)



(資料：県業務資料)

スギの植栽面積 (全国) の推移



(資料：日本林業技術協会資料)

(3) 森林・林業を取り巻く状況

人工林の拡大は、昭和30年代における豊富な農山村の労働力等に支えられ、全国的な広がりを見せましたが、高度経済成長を担う急激な木材需要に応じるには若齢であり、利用可能な人工林が少なかったことなどから、外国産材の輸入が行われるようになり、今日では約8割を外国産材に頼らざるを得ない状況になっています。また、農山村から都会への人口流出、更には木材を代替する建築資材の台頭や生活様式の変化に伴う住宅の洋風化などの社会的要因により、間伐を行っても、その伐採された木材は売れない状況となってきています。このような理由から、造成された人工林も次第に管理不足や放置されるようになってきており、人工林は今、活力を失いつつあります。

戦後の荒廃した山林



人工造林の拡大



人工林の荒廃

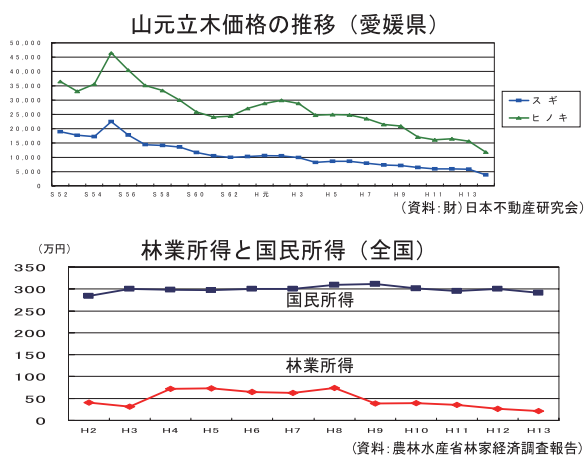


これらの森林を守ってきた林家の林業経営状況等を見ると、県内の立木価格は、スギ・ヒノキともに下落しており、平成14年度のスギ1m³（柱に加工される長さ3mの丸太では20本程度）の立木価格では約3,800円程度と、昭和30年当時の全国平均価格の86%まで低下しています。昭和30年当時の物価水準を考えると価格の低下は著しいものと言わざるを得ません。また全国ベースでの林家の林業所得においても平成13年度は年間約21万円と急落しております。なお、この調査対象林家は山林所有規模が20ha以上500ha未満の林家であり、20ha未満の小規模林家が約95%を占める本県の林家においては、さらに厳しい経営状態となっています。

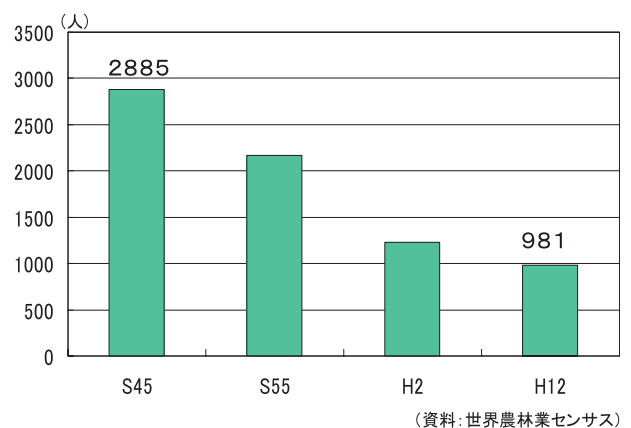
一方、林業専門労働者数も確実に減少しており、平成12年度にはわずか1,000人不足となっております。

人工林を健全に維持していくための間伐の推移は、平成元年前後は約11,500ha実施されていましたが、その後は約8,000haと低下し、現在は平成12年度から始まった補助事業の緊急間伐5か年計画の実施等によって毎年約9,000haを確保・実施している状況です。

立木価格と林業所得の推移

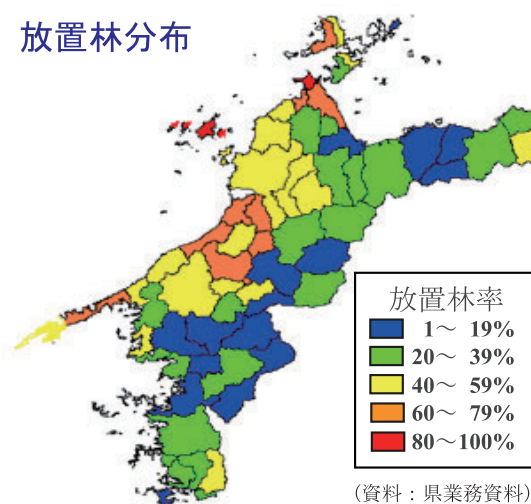


林業専門労働者の推移



しかしながら、平成12年度に県が行った放置された森林の実態調査によると、人工林（針葉樹）のうち約30%にあたる63,000haが、概ね10年間手入れされていないという結果となっており、気象災害や病虫害の発生、表土の流出など森林の荒廃が懸念されています。

放置林分布



(4) これからの森林・林業に必要なもの

これまで森林は、主として山村地域の人々と地域の仕組みによって、林業という形で維持されてきましたが、ここで見てきたように、限られた地域の力では、もはや大切な森林は守りきれなくなっています。これからは、県民全体が森林について理解し、それぞれのやり方で参加し、森林にかかわる活動を支援することが必要であると考えています。

森林作業に直接携わる「林業担い手」といわれる専門労働者を例に挙げてみると、毎年100人を確保しなければならないにもかかわらず、様々な補助事業を活用しても、60人を確保するのが精一杯の状態です。この大切な「担い手」についても、社会全体の理解と支持があれば、社会的地位や待遇が向上し、自らも働きがいを感じられるようになり、はじめて十分に確保できるようになっていくのではないのでしょうか。

3 森林環境税導入の必要性

これまで森林は、主として林業者や国、地方公共団体によって、世代を超えて、造成・維持・管理が行われてきましたが、県民や社会からの多様な要請や森林に対する深いかかわりへの期待がますます高まりつつあり、これまでの体制や方法では、県民のニーズに到底こたえきれなくなってきました。

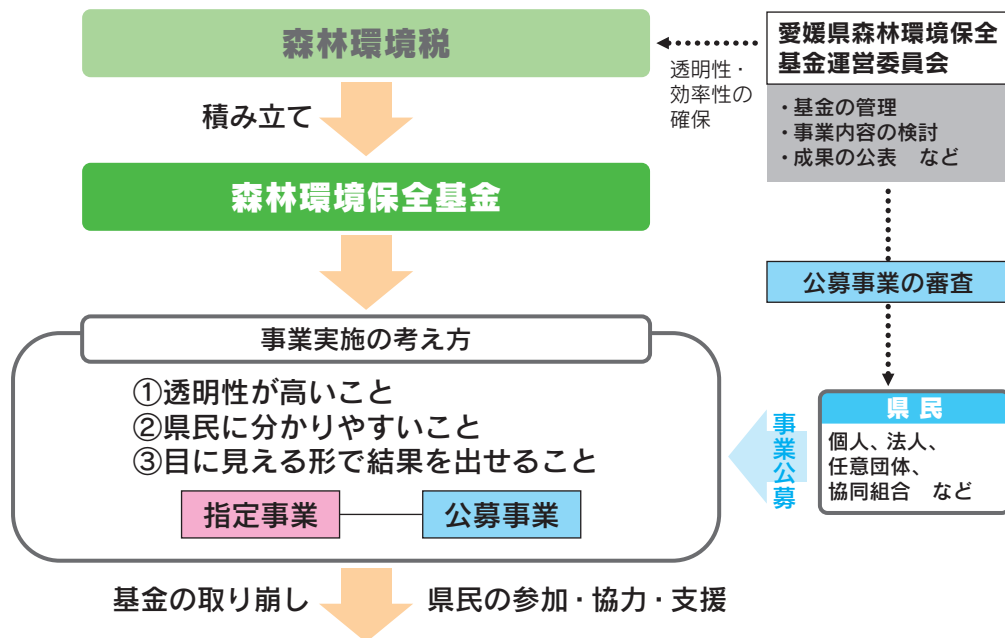
そこで、これまで県が進めてきた「森林そ生」の取り組みをさらに一歩進めて、

- すべての県民の参加によって
- 森林を守り、健全に育つことができるよう手助けをし
- その働きをすべての県民が理解し、かつ主体的に享受する

具体的で効果的な仕組みづくりを始めることが必要であることから、すべての県民に参加していただく、もっとも重要で効果的な第一ステップとして、税負担による直接参加をお願いし、これを前提として、「県民参加による森林共生文化の創造」のための活動の仕組みを構築していくことといたしました。

II 森林環境税を活用した施策の仕組み(平成18年度)

森林環境の保全と森林と共生する文化の創造



森をつくる

- 指定事業**
- ①源流の森整備保全事業
 - ②集落防災緊急森林整備事業
 - ③流木等防止山地保全事業
 - ④里地里山再生モデル事業

- 公募事業**
- 水源の森づくり
 - 放置森林(竹林)の整備 など
 - 里山の整備

木をつかう

- 指定事業**
- ①木の香る環境づくり促進事業
 - ②木に親しむ学び舎づくり促進事業
 - ③木質バイオマス利用促進事業
 - ④えひめ産材住宅普及啓発事業
 - ⑤公共施設木材利用推進事業
 - ⑥県立学校校舎整備事業

- 公募事業**
- ベンチづくりと配布
 - 親子木工教室
 - 間伐材活用体験 など

森の交流センター

- ボランティア、NPO等のネットワーク化、活動・交流支援
- フィールドの登録・提供
- 森林情報の収集・提供
- 公募事業の推進

森とくらす

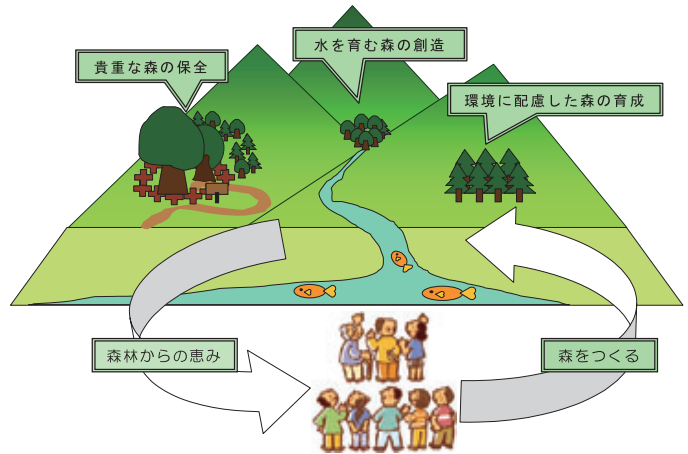
- 指定事業**
- ①県民と森との交流促進事業
 - ②県民参加の森設置・提供事業
 - ③「森はともだち」推進事業
 - ④自然観察会開催事業

- 公募事業**
- 森の観察会や森林環境教育
 - 森での自然・生活体験
 - 炭焼き・クラフト体験 など

1 指定事業 ～県が用途を定め実施する方式～

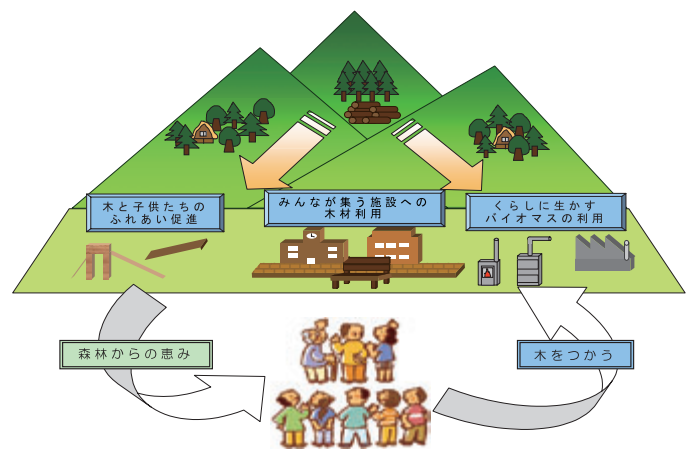
(1) 森をつくる活動

県民に様々な恵みを与えている森林のうち、特に生活に欠くことのできない「水」を育む働きを持つ河川上流域の森林の自然力等を活かした整備や、集落周辺の森林の防災機能を高めるなど、森林所有者等自らが環境に配慮した、持続可能な森林管理や経営に取り組む活動を推進しています。



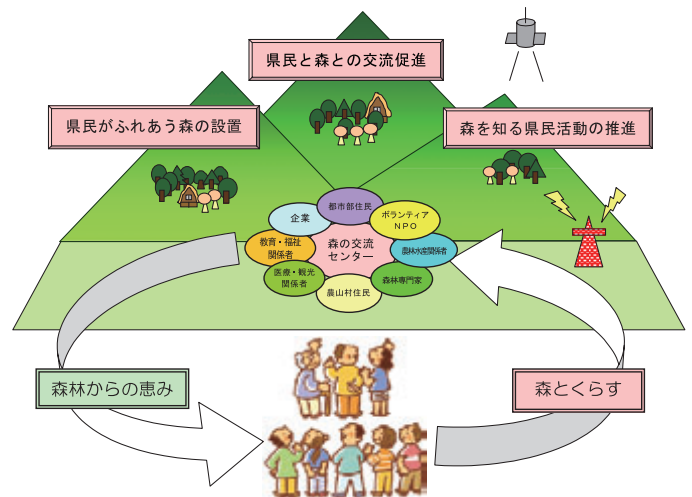
(2) 木をつかう活動

再生産が可能な自然素材である木材を暮らしの中であつかうことは、日常生活を豊かにし、県民の健康、生活環境を改善するだけでなく、森林環境の改善、地球温暖化の防止や環境に負荷の少ない循環型社会の実現にも貢献するものであることから、県民が集い交流する公共的な施設やその周辺施設での木材の利用を推進するとともに、保育所、幼稚園、小学校、福祉施設などに木製遊具を設置し、子供たちの木とのふれあいを促進しています。



(3) 森とくらす活動

森林と出会い、森林とふれあい、そして森林に親しみながら森林を知り、様々な地域に存在する多様な森林を育てていくことにより、県民が森林とかかわりを持ち、暮らしの中により身近に森林を感じ、森林を愛する森林との共生関係を推進しています。



2 公募事業 ～県民から取組を公募し実施する方式～

今後の森林環境整備には、県民の積極的な参加を仰がなければなりません、「森林環境税を納税する」ことによる「参加」ととどまらず、「森林環境税を活用して県民自身が、その用途を企画・立案し、実行する」ことにより、「森林と共生する文化」を創造していただくというもので、平成17年度は42件、平成18年度は69件の活動が行われました。

Ⅲ 森林環境税を活用した事業の成果指標と目標値 (H17~H21年度の5ヶ年間)

事業成果については、県民の皆さんにわかりやすいよう、目に見える形で公表することとしており、以下のような指標と目標値を設定しました。

森をつくる活動	緊急に整備の必要な森林を限定して、集中的に森林の機能回復を目指す事業で、植栽、除間伐及び林内整理等を実施する面積	森林整備面積 <u>1,700ha</u>	拡大・定着
木をつかう活動	県民に対して、木材利用の意義、安定的な供給、多様な用途などを普及することを目的とした事業で、公共的施設の木質化された内装にふれあう人数と有効利用される木材の量	木とふれあう人数 <u>112,000人</u> 木材使用量 <u>31,000m³</u>	
森とくらす活動	県民を森へ誘導し、県民総ぐるみでの森林整備の支援を目指した事業で、森の交流センターを中心として森と交流する人数	森と交流する人数 <u>78,000人</u>	
公募事業	県民からの施策の提案を受けるとともに、県民自らが企画、立案、実行する活動を支援する事業で、森林づくり等の活動に参加する人数	公募事業に参加する人数 <u>40,000人</u>	

森林整備面積
1,700ha

県内の年間間伐実施面積(16年度8,484ha)の20%程度

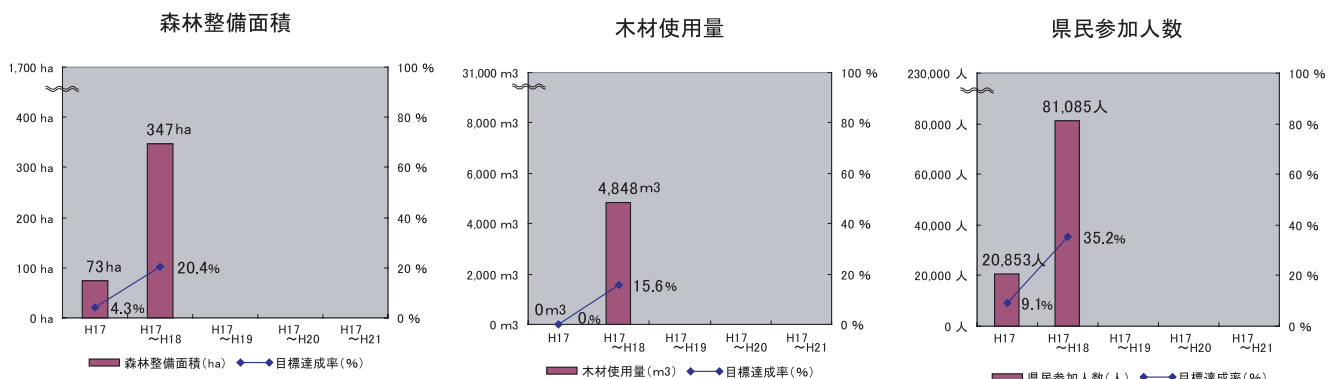
木材使用量
3万1千m³

年間に生産される木材46万3千m³の7%程度

県民参加人数
23万人

県民(149万人)の15%程度

(事業実施状況)



IV 平成18年度事業実績

1 事業総括表

○基金繰入額 347,000,000円

積立金	内 容	内 訳	予 算 額	決 算 額	差 引 額
森林環境保全基金積立金	森林環境税を財源に、全ての県民で支える森づくりの理解と参加の促進及び公益的機能を発揮できる森林保全の事業を計画的かつ確実に実施するため、基金を積み立てる。	①森林環境保全基金積立金	353,000,000円	347,000,000円	6,000,000円

○歳出額

	事業名	内 容	事 項 名	予 算 額	決 算 額	差 引 額
県 指 定 事 業	森をつくる活動	生活に欠くことのできない水を育む働きをもつ河川上流域の森林を対象に、自然力等を活かした整備・保全をしていく活動を推進するとともに、山地防災機能の向上を図るため、人家裏・集落等の山腹崩壊危険地区において防災機能を高める森林施業による整備を促進する。		123,660,000円	104,800,654円	18,859,346円
			①源流の森整備保全事業費 奥地の人工林を針広混交林化	57,592,000円	48,921,700円	8,670,300円
			②集落防災緊急森林整備事業費 防災機能を重視した集落周辺の森林整備	42,028,000円	32,716,260円	9,311,740円
			③流木等防止山地保全事業費 ダム工等に異常堆積した立木等の除去と森林整備	19,350,000円	18,860,000円	490,000円
			④里地里山再生モデル事業費 放牧牛を活用した荒廃農地の整備と周辺森林の整備	4,690,000円	4,302,694円	387,306円
	木をつかう活動	市町等の公共施設における内装の木質化や小学校等教育施設における木製遊具等の設置を推進し、再生可能なエコ・マテリアル（環境素材）である木材を暮らしの中に取り入れ、人にやさしい生活環境を創造する。		123,676,000円	94,209,304円	29,466,696円
			①木の香る環境づくり促進事業費 公共施設の内装木質化や外構木製化の推進	5,667,000円	5,667,000円	0円
			②木に親しむ学び舎づくり促進事業費 幼少年教育施設への木製遊具や机等の設置	6,743,000円	2,793,000円	3,950,000円
			③木質バイオマス利用促進事業費 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	26,000,000円	617,304円	25,382,696円
			④えひめ産材住宅普及啓発事業費 えひめ産材を使用した展示住宅建設への助成	3,368,000円	3,234,000円	134,000円
			⑤公共施設木材利用推進事業費 地域のシンボルとなる公共施設の木造化	64,898,000円	64,898,000円	0円
	⑥県立学校校舎整備事業費（教育委員会） 県立学校校舎の内装木質化	17,000,000円	17,000,000円	0円		
	森とくらす活動	森林づくりを行う市民グループや団体間の交流や情報の提供、森づくりの場（フィールド）の提供を行い、さらに県民活動を通じて、暮らしの中に森林との共生関係を推進するため、「えひめ山の日」を中心とした普及広報活動を行う。		30,603,000円	26,161,653円	4,441,347円
①県民と森との交流促進事業費 県民と森との交流促進			7,461,000円	6,448,353円	1,012,647円	
②県民参加の森設置・提供事業費 県民活動の拠点整備			19,667,000円	16,545,000円	3,122,000円	
③「森はともだち」推進事業費 児童・生徒を対象とした森林体験学習の実施			1,575,000円	1,575,000円	0円	
④自然観察会開催事業費 一般県民を対象とした自然観察会の開催			1,900,000円	1,593,300円	306,700円	
公募事業	森林環境税の目指す「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県民の豊かな発想や自発的な活動を引き出すことにより、県民参加を具体化する。		30,000,000円	27,995,000円	2,005,000円	
		①県民参加の森づくり公募事業費	30,000,000円	27,995,000円	2,005,000円	

○計 307,939,000円 253,166,611円 54,772,389円

○保留額 45,061,000円 93,833,389円

保留額については、19年度以降の事業の計画的な実施と県民の皆さんの意見を反映しながら、取り組むことがより効果的なものについて活用していきます。

2 事業別実績

(1) 県指定事業

森をつくる活動

①源流の森整備保全事業

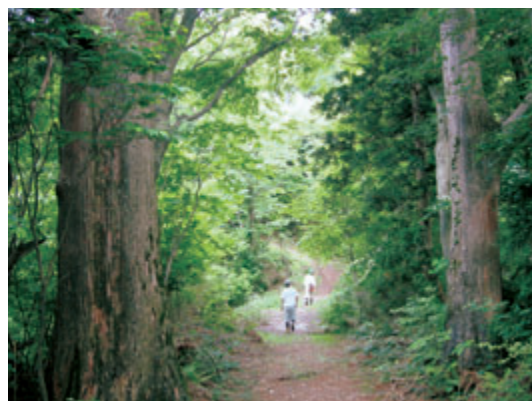
河川の源流域（奥地）に愛媛県の水源地の森のシンボルとなる「源流の森」を整備し、当該エリア内の森林所有者と非皆伐施業協定を締結する等、県民の協力のもと自然力を最大限に生かした森林へと誘導します。

1 ポイント

水は生命の根源であり、県民の生活に欠くことができない貴重な資源であるため、それを育む働きを持つ河川の源に位置する森林は、県民共有の貴重な財産として、今後も守り残していく必要があります。

一方、県下の主要河川の源流域の現状は、国有林の一部に原始的な森林が現存するものの、民有林部分にある河川上流域の森林は、人手によって植林されたものが大部分を占め、そのほとんどが立地条件不利な奥地にあるため整備されず荒廃しつつあります。

このため、強度間伐による天然力を活かし人手のかからない針広混交林の造成や広葉樹植栽による樹種転換等を実施し、健全な森に回復させ、将来にわたり水源かん養機能の高い豊かな森へと誘導していきます。



2 平成18年度実績

(1) 実績額 48,922千円（事務費93千円含む。）

(2) 実施内容

実施場所	事業内容	事業費	委託先
加茂川源流	間伐 22.73ha 整理伐 3.97ha 森林管理作業道 3,300m	14,680,000円	新居森林組合 代表理事組合長 伊藤 浩
河の子川源流	間伐 24.99ha 森林管理作業道 3,400m	11,130,000円	久万広域森林組合 代表理事組合長 竹本 俊夫
岩瀬川源流	間伐 49.13ha 森林管理作業道 7,972m	22,647,000円	西予市森林組合 代表理事組合長 山口 亭
計	間伐 96.85ha 整理伐 3.97ha 森林管理作業道 14,672m	48,457,000円	

実施場所	事業内容	事業費	委託先
加茂川源流	普及啓発用看板作成及び据付 (3箇所) <施行箇所>・加茂川源流 ・河の子川源流 ・岩瀬川源流	371,700円	愛媛県森林組合連合会 代表理事会長 兵頭 績
河の子川源流			
岩瀬川源流			
計		371,700円	

(3) 実施状況

加茂川源流（西条市）



河の子川源流（久万高原町）



岩瀬川源流（宇和島市）



看板設置状況



3 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計	
森林整備面積	計	協定面積	—	330ha	230ha	220ha	220ha	1,000ha
		施業面積	—	112ha	163ha	125ha	115ha	515ha
	事業費	10,170千円	57,592千円	82,282千円	62,772千円	59,305千円	272,121千円	
	実績	施業面積	調査委託	101ha				101ha
		事業費	9,612千円	48,922千円				58,534千円
		実施箇所	加茂川源流（西条市）、河の子川源流（久万高原町）、岩瀬川源流（宇和島市）の3源流	同左				

②集落防災緊急森林整備事業

集落周辺の森林の防災機能を高めるため、従来型の間伐に加え、根がよく張り地盤をしっかりと抑える優れた樹木の育成や、下層植生を導入するなど土砂崩壊防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

1 ポイント

平成16年の、例を見ない台風災害等に対応することから、土砂崩壊防止機能の高い森林を造成するため、県が判定する※「山地災害危険地区」のうち、人家に直接災害を与える恐れのある危険度の高い未整備の森林を、各市町の地域防災計画に位置づけ、森林所有者の協力のもと、防災意識が高い地区を対象に、3ヶ年間で緊急に森林整備するものです。

※ 県が判定する「山地災害危険地区」

山地において、山腹崩壊や土石流等が発生する恐れのある地区を、勾配や地質の特性等の因子に基づいて整理しており、山腹崩壊危険地区・崩壊土砂流出危険地区・地すべり危険地区があります。



2 事業内容及び採択要件等

山地災害危険地区のうち、山腹崩壊危険地区で、市町の地域の防災計画に登載している箇所事業を実施します。(施業後直ちに皆伐することがないように、非皆伐施業協定の締結が必要です。)

事業名	事業実施主体	事業内容	採択要件	補助率
機能増進間伐①	市町	強度間伐 簡易木柵工(林内整理)	国庫補助造林補助 事業採択箇所	ha当たり158千円の定 額県費補助
機能増進間伐②		強度間伐 簡易木柵工(林内整理)	国庫補助造林補助 事業未採択箇所	ha当たり204千円の定 額県費補助
風倒木処理		風倒木の除去・整理	集団的な風倒木 被害跡地	ha当たり162千円の定 額県費補助
市町附帯事務費		防災の普及啓発 事業実施箇所の選定 交付申請等に要する経費	各市町内で実施す る事業費総計の5 %以内	事務費の1/2県費補助

※ 機能増進間伐

林内の光環境を改善し下層植生の繁茂を促し、土砂流出防止機能などの防災機能を高めるため、通常よりも強度に立木を伐採する間伐を言います。

3 平成18年度実績

(1) 実績額 32,716千円

(2) 実施内容

市町名	事業区分	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助金額 (円)	市町名	事業区分	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助金額 (円)	市町名	事業区分	事業量 (ha)	事業費 (円)	補助金額 (円)
四国中央市	機能増進間伐 (造林補助事業採択)	2.99	1,123,641	472,420	松山市	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	3.00	1,407,000	612,000	宇和島市	機能増進間伐 (造林補助事業不採択)	1.65	749,000	336,600
	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	8.09	3,412,359	1,650,360		付帯事務費		70,000	35,000		付帯事務費		37,450	18,700
	付帯事務費		206,318	103,000		小計	3.00	1,477,000	647,000		小計	1.65	786,450	355,300
	小計	11.08	4,742,318	2,225,780		久万高原町	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	4.00	1,890,000		816,000	鬼北町	機能増進間伐 (造林補助事業不採択)	11.35
新居浜市	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	6.00	2,688,000	1,224,000	付帯事務費		0	0	付帯事務費		20,000	10,000		
	付帯事務費				小計	4.00	1,890,000	816,000	小計	11.35	5,161,550	2,325,400		
	小計	6.00	2,688,000	1,224,000	八幡浜市	風倒木等の除去・整理	2.79	1,202,250	451,980	愛南町	機能増進間伐 (造林補助事業不採択)	2.07	1,700,000	422,280
	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	18.80	8,505,000	3,835,200	付帯事務費		60,000	30,000	付帯事務費			0	0	
付帯事務費		200,000	100,000	小計	2.79	1,262,250	481,980	小計	2.07		1,700,000	422,280		
小計	18.80	8,705,000	3,935,200	大洲市	機能増進間伐 (造林補助事業採択)	36.48	11,527,680	5,763,840	合計			166.05	68,946,808	32,716,260
西条市	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	18.80	8,505,000	3,835,200	機能増進間伐 (造林補助事業不採択)	64.71	26,401,680	13,200,840						
	付帯事務費		200,000	100,000	風倒木等の除去・整理	0.52	168,480	84,240						
	小計	18.80	8,705,000	3,935,200	付帯事務費		1,000,000	500,000						
	小計	3.60	1,436,400	734,400	小計	101.71	39,097,840	19,548,920						
今治市	機能増進間伐 (造林補助事業未採択)	3.60	1,436,400	734,400										
	付帯事務費													
	小計	3.60	1,436,400	734,400										

(3) 実施状況

西条市

久万高原町

大洲市



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計	
森林整備面積	計画	施業面積	151ha	217ha	250ha	—	618ha	
		事業費	29,081千円	42,028千円	58,599千円	(30,000千円)	(30,000千円)	(189,708千円)
	実績	施業面積	73ha	166ha				239ha
		事業費	14,726千円	32,716千円				47,422千円
		実施箇所	8市町 (四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、久万高原町、内子町、宇和島市、愛南町)	11市町 (四国中央市、新居浜市、西条市、今治市、松山市、久万高原町、八幡浜市、大洲市、宇和島市、鬼北町、愛南町)				

③流木等防止山地保全事業（H18新規）

台風豪雨による流木等の被害を防止するため、集落後背部の河川や溪流を対象に、これまでの治山事業と併せて、ダム工等に異常堆積している流木等の除去や森林整備等を行います。

1 ポイント

台風豪雨等により荒廃のおそれのある河川及び溪流に異常堆積した流木や土砂等が、今後の降雨等で流出し、河川を閉塞させる等の恐れのある箇所について、当該堆積物を除去し、河道を確保するとともに、当該河川沿いの溪岸林及び周辺森林の整備を図り、土木部の災害復旧整備（砂防整備、河川整備等）と併せて集中的かつ総合的な県土の保全を推進します。

2 事業内容及び採択要件等

<p>(1) 溪岸林整備区間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数調整伐（間伐率50～70%） ・ 深根性樹種の植栽 ・ 伐倒木の除去 ・ 流木、堆積土砂等の除去 流木及び堆積土砂の搬出、運搬及び処理 	<p>【実施場所】 民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。</p> <p>【事業主体】 市町</p> <p>【補助率】 1/2</p> <p>【採択要件】 天然現象で荒廃又は荒廃の兆しのある河川及び溪流に異常堆積した流木・土砂等が、次期降雨等で直下の河川等へ流出し閉塞する等して、下流域の人家等に直接被害を及ぼす森林又は及ぼすおそれのある森林（保安林以外の森林）のうち、次の各号の全てに該当する箇所で、1箇所の工事費（年間計画額）が400万円以上であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各市町が、該当市町の地域防災計画に明記した山地災害危険地区の森林を対象として、当該事業整備計画を作成すること。 ② 整備計画箇所から下流1km以内に、人家2戸以上又は弱者関連施設等の公共建築物があること。
<p>(2) 周辺森林</p> <p>① 周辺森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数調整伐 (間伐率30～50%) ・ 木柵工等による土砂移動防止 <p>② 小崩壊地の早期緑化復旧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 倒木の除去 ・ 深根性樹種の植栽 ・ 木柵工等による土砂移動防止 	

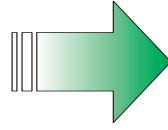
3 平成18年度実績

(1) 実績額 18,860千円（事務費260千円含む。）

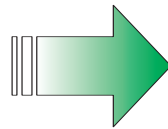
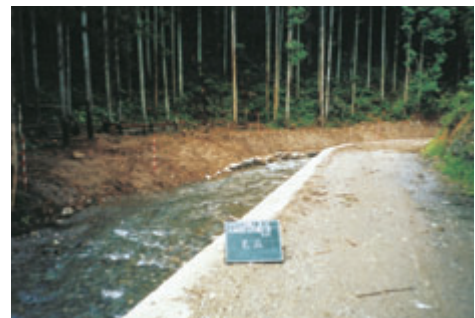
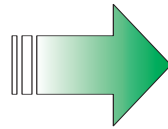
(2) 実施内容

実施主体	施行箇所	面積	事業費	左のうち県費
四国中央市	川滝町西ノ尾	0.5ha	5,100千円	2,550千円
西条市	小松町湯浪	1.0ha	12,500千円	6,250千円
〃	早川	0.4ha	9,600千円	4,800千円
久万高原町	下畑野川	1.9ha	10,000千円	5,000千円
計	4箇所	3.8ha	37,200千円	18,600千円

(3) 実施状況



河川内に堆積した土砂・流木を除去した様子（西条市小松町湯浪）



河川内に倒木した林木の除去及び溪岸部の森林を整備した状況（西条市早川）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計	
森林整備面積	計画	面積	—	30ha	30ha	—	—	60ha
		事業費	—	19,350千円	30,300千円	(30,000千円)	(30,000千円)	(109,650千円)
	実績	面積	—	4ha				4ha
		事業費	—	18,860千円				18,860千円
		実施箇所	—	4箇所（四国中央市（1）、西条市（2）、久万高原町（1））				

④里地里山再生モデル事業

高齢化や過疎化により里地里山の荒廃や農用地の耕作放棄が進む中山間地域において、放牧牛の除草機能（舌草刈）を利用した「里地里山の環境整備」を行うとともに、周辺森林の除間伐等による「豊かな森づくり」や「農地の再生」を通じて、小学生等の食農教育や森林環境教育の学習の場として、えひめのモデル的里地里山の整備を行い、里地里山の再生と中山間地域の活性化を図ります。

1 ポイント

荒廃した里地里山等の保全、再活性化を図り、森林環境の保全と中山間地域の農用地等の確保・活性化を進めるため、山林と農用地の境界域にある耕作放棄地及び周辺森林において、放牧牛の除草機能を活用した「里地里山の環境整備」、「豊かな森づくり」、「農地の再生」、「里地里山学習」を組み合わせた愛媛型の『里地里山再生モデル事業』を展開します。

2 平成18年度実績

(1) 実績額 9,428千円（うち森林環境税4,303千円）

(2) 実施内容

事業区分	事業実施主体	事業内容	実施地区及び除間伐実施面積
里地里山の環境整備	愛媛県	耕作放棄地等へ牛を放牧し、放牧牛の除草機能を活用し除草活動を実施。	久万高原地区 (久万高原町日野浦地区) 除間伐：1.3ha
豊かな森づくり		周辺森林の除間伐、植樹等による森林整備を実施。	
農地の再生		耕作放棄地の畦畔、水路、里道の再生、景観作物などの植え付けを実施。	大洲地区 (大洲市平野地区) 除間伐：0.4ha
里地里山学習		小学生等の現地学習会等を実施。	愛南地区 (愛南町平地地区) 除間伐：0.9ha

3 実施状況

久万高原モデル地区



大洲モデル地区

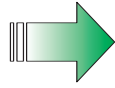


愛南モデル地区

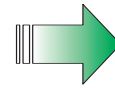


① 里地里山の環境整備（牛の舌草刈りによる除草効果：愛南モデル地区）

H18.6.2
(放牧当日)



H18.7.4
(放牧開始32日目)



H18.8.22
(放牧開始81日目)



② 豊かな森づくり
久万高原モデル地区



大洲モデル地区

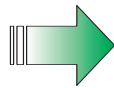


愛南モデル地区



③ 農地の再生

愛南モデル地区
(水路整備)



大洲モデル地区
(イタリアンライグラスの栽培)



④ 里地里山学習

久万モデル地区
H18.8.2



愛南モデル地区
H18.8.2



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	箇所数	—	3箇所		—	—	3箇所
	事業費	—	4,690千円	3,260千円	—	—	7,950千円
実績	事業量	放牧牛による除草・農地再生	—	3.9ha			
		間伐	—	2.6ha			
		学習会	—	3回 (1回×3地区)			
	事業費	—	4,303千円				4,303千円
	実施箇所	—	3箇所 (久万高原町、大洲市、愛南町)				

木をつかう活動

①木の香る環境づくり促進事業

公共的施設等を対象に、地域材を利用した内装の木質化及び外構への木製品導入等に対して支援を行い、県民に快適な空間を提供するとともに、直接木を見て触れることにより、木材に対する理解を深めるとともに、木材利用の意義を啓発します。

1 ポイント

公共的施設等に、地域材を利用した内装の木質化及び外構への木製品導入を行うことにより、木材の特性を生かした街づくりと森林の整備、次世代への継承を促し、循環型社会の実現を目指すものです。

2 事業内容及び採択要件等

補助対象	市町の公共施設、学校施設、福祉施設、病院施設、交通施設（鉄道、空港、港湾等）等で公共性が高いと認められる施設
補助対象事業主体	市町・学校法人・社会福祉法人等
事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋コンクリート構造等の公共的施設の内装等（床・壁・天井等）に地域材を使用した場合の木工事経費（部材代+施工代）に対して助成。 補助率1/2以内 限度額 8,000千円/施設 ・公共的施設の外構に地域材を使用した木製品（ベンチ・デッキ・木レンガ舗装等）を導入した場合の経費に対して助成。 補助率1/2以内 限度額 2,000千円/箇所 事業費が500千円に満たない場合は補助しない。 ・地域材使用率100%の施工箇所に限る。 	

3 平成18年度実績

- (1) 実績額 5,667千円
- (2) 実施内容

事業区分	事業主体	事業内容	補助金額
木質内装化支援事業	久万高原町	国民宿舎古岩屋荘 久万高原町立病院	2,996千円
	宇和島市	明倫幼稚園	378千円
木製外構整備支援事業	今治市	玉川森林館 木柵	309千円
	松山市	西須賀公園 四阿・ベンチテーブルセット	1,984千円
計			5,667千円

(3) 実施状況



木質内装化（明倫幼稚園）



木質内装化（国民宿舎古岩屋荘）



外構（玉川森林館）



外構（西須賀公園）



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	10,980人	11,200人	11,420人	実績を踏まえ て検討		33,600人
	事業費	5,465千円	5,667千円	6,521千円			17,653千円
実績	ふれあう人数	4,522人	35,405人				39,927人
	事業費	5,083千円	5,667千円				10,750千円
	実施箇所	木質内装化 国民宿舎古岩屋荘 （久万高原町） 木製外構整備 知的障害者更正施設 希望の森 （西予市） うわまち南保育園 （西予市） 久万高原町バス待 合室（久万高原町）	木質内装化 国民宿舎古岩屋荘 久万高原町立病院 （久万高原町） 明倫幼稚園 （宇和島市） 木製外構整備 玉川森林館 （今治市） 西須賀公園 （松山市）				

②木に親しむ学び舎づくり促進事業

感受性豊かな幼児期・少年期において、人や環境に優しく、再生産可能な自然素材である木を使うことで、物の大切さなどの情緒教育を行うとともに、木材のよさの普及を行い、将来的な木材に対する理解を深めます。

1 ポイント

私たちはコンクリートや鉄、プラスチックといった無機質の物質に囲まれて生活していますが、再生産可能な自然素材である木を暮らしの中で使うことは、日常生活を豊かにし、人の健康、環境の改善や地球温暖化の防止に貢献するものです。

そこで、感受性豊かな幼児期・少年期において、人や環境に優しい木工品等を児童・生徒が自ら考え、作成したり、木製遊具や木製品を使用して、木の温もり、柔らかさに触れることで、物の大切さなどの情緒教育を行うとともに、木材のよさの普及を行い、将来的な木材に対する理解を深め、大量生産・大量消費の生活様式から脱し、環境に負荷の少ない循環型社会構築への意識啓発を行います。

2 事業内容及び採択要件等

○木の机・椅子・屋外遊具

事業内容	幼稚園や小中学校、児童福祉施設等に新規導入する、木の机・椅子、屋外の大型遊具等に対する助成
対象施設	幼稚園や保育所、小中学校等の教育施設、児童館、児童福祉施設、公園等
補助対象経費及び補助率	・地域材を使用した木の机・椅子の整備にかかる経費 補助率 木質化に要する経費の1/2以内 限度額 11千円/組 ・地域材を使用した屋外用の大型木製遊具等の整備に対する補助 補助率 1/2以内 限度額 3,000千円/施設
事業主体	市町（事業実施主体：市町及び市町以外の施設の所有者）

3 平成18年度実績

(1) 実績額 2,793千円

(2) 実施内容

事業区分	事業主体	事業内容	補助金額
木の机等整備支援事業	久万高原町	面河小、面河中、柳谷小、柳谷中学校 115組	1,140千円
木製屋外遊具支援事業	鬼北町	愛治小 鐘たたき、忍者渡り、 モンキーブリッジの設置	1,653千円
計			2,793千円

(3) 実施状況



面河小学校（木の机・椅子）



愛治小学校（屋外遊具）

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	ふれあう人数	980人	1,660人	2,130人	実績を踏まえて検討		4,770人
	事業費	6,600千円	6,743千円	1,965千円			15,308千円
実 績	ふれあう人数	2,947人	625人				3,572人
	補助金額	6,600千円	2,793千円				9,393千円
	実施箇所	木工教室 愛媛県林業研究グループ連絡協議会 (県下8箇所) 木の机等整備 久万小、美川小 (久万高原町) 木製屋外遊具整備 うわまち南保育園、 宇和保育園(西予市) 南吉井小、川上小、 重信幼稚園、北吉井 幼稚園、川上幼稚園、 東谷幼稚園(東温市)	木の机等整備 柳谷小、柳谷中、 面河小、面河中 (久万高原町) 木製屋外遊具整備 愛治小 (鬼北町)				

③木質バイオマス利用促進事業（H18新規）

災害に強い山づくりや二酸化炭素の吸収・固定による地球温暖化防止等を通じて、森林・林業が環境保全などに貢献するよう、未利用間伐材等、木質バイオマス資源の利用促進を図ります。

1 ポイント

林内に放置されている低質材（著しい曲材、変色・腐り材、根元部、梢端部）を製紙用原料や化石燃料の代替として発電用燃料として供給するための支援を行い、木質バイオマスの利用促進による二酸化炭素の削減や災害に強い山づくりに貢献します。

2 事業内容及び採択要件等

事業内容	えひめ森林そ生プロジェクト対象団地から搬出される低質材等1m ³ 当たり、炭素貯蔵効果額10,248円の製紙用原料歩留り40%の1/2を助成する。
補助対象	森林そ生推進団地から搬出し、製紙用原料や発電用燃料等に有効活用する低質材等、木質バイオマス資源
事業主体	愛媛県森林組合連合会
補助単価	10,248円×0.4×1/2=2,000円/m ³
補助金額	308.652m ³ ×2,000円/m ³ =617千円

3 平成18年度実績

- (1) 実績額 617千円
- (2) 実施内容

補助対象材積	補助金額
308.652m ³	617,304円

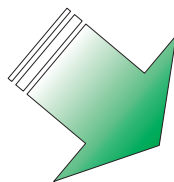
4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計 画	低質材の有効利用量	—	13,000m ³	3,900m ³	3,900m ³	3,900m ³	24,700m ³
	事業費	—	26,000千円	7,850千円	7,850千円	7,850千円	49,550千円
実 績	低質材の有効利用量	—	309m ³				309m ³
	事業費	—	617千円				617千円
	実施箇所	—	県内一円				

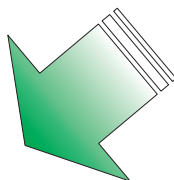
5 事業イメージ



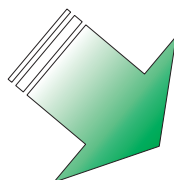
森林そ生推進団地内での低質材



愛媛県森林組合連合会買い取り



チップに加工



製紙会社



④えひめ産材住宅普及啓発事業（H18新規）

えひめ産材を使用した展示住宅の建設を支援し、木材の最大の需要先である民間住宅に対して、えひめ産材を使用した木造住宅の建設を促進するとともに、地域材の需要拡大、健全な森林整備を目指します。

1 ポイント

日本農林規格に合格し、品質・性能が保証され、かつ乾燥された地域材（以下、「えひめJAS材」という）を、別表1に掲げる主要部材等に使用して展示住宅を建築した場合、大工・工務店に対し、えひめJAS材の使用量に応じて補助金を交付します。

2 事業内容及び採択要件等

事業内容	日本農林規格に合格し、品質・性能が保証され、かつ乾燥された地域材を、主要部材等に使用して展示住宅を建築した場合、大工・工務店に対し、使用量に応じて補助金を交付する。
補助対象	次の条件をすべて満たす展示住宅 ① 別表1に掲げる主要部材に、えひめJAS材を80%以上使用して建築する展示住宅 ② 延床面積80㎡以上、かつえひめJAS材使用量が0.15㎡/㎡以上の展示住宅 ③ 図面等により木材の配置及び寸法が明示されている展示住宅 ④ 補助採択後、棟上げが行われ、2月までに完成する展示住宅 ⑤ 建設中及び事業完了後から3ヶ月間、県産材の普及啓発活動の協力を行うことのできる展示住宅
事業主体	県内に事務所をおく建築業者
補助金額	えひめJAS材を使用した材積1㎡当たり27千円を交付する。 ただし、1棟当たり補助金の上限は60万円とする。

別表1

主要部材	在来工法	土台、大引、根太、通柱、管柱、間柱、桁、梁、筋交、小屋束、棟木、母屋、垂木
	桝組壁工法等	土台、床根太、端根太、側根太、まぐさ、天井根太、垂木、棟木、壁の上桝及び頭つなぎ、壁のたて桝、筋交い

3 平成18年度実績

(1) 実績額 3,234千円（事務費348千円含む。）

(2) 実施内容

所在地	施工業者名	施工業者住所	延床面積	えひめJAS材使用量	補助金額
西条市大町	白石木材商工株式会社	西条市喜多川209-1	100.5㎡	18.8722㎡	486千円
西条市朔日市	新日本建設株式会社	松山市針田町109-9	204.8㎡	48.9681㎡	600千円
喜多郡内子町重松	ヤマキハウス株式会社	八幡浜市保内町喜木1-73	117.3㎡	28.0144㎡	600千円
西予市宇和町上松葉	有限会社丸万住宅	西予市宇和町野田400-6	183.7㎡	52.2873㎡	600千円
宇和島市伊吹町	古川建築グループ	宇和島市伊吹町甲1155-7	272.1㎡	50.9416㎡	600千円
計					2,886千円

(3) 実施状況



建築中の状況



構造見学会の状況



展示住宅の完成



展示住宅の内装



普及啓発活動の状況

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	訪問者数	—	3,000人	3,000人	3,000人	3,000人	12,000人
	事業費	—	3,368千円	3,289千円	3,289千円	3,289千円	13,235千円
実績	訪問者数	—	1,094人				1,094人
	事業費	—	3,234千円	3,289千円	3,289千円	3,289千円	13,101千円
実績	実施箇所	—	①西条市(白石木材商工株式会社) ②西条市(新日本建設株式会社) ③内子町(ヤマキハウス株式会社) ④西条市(有限会社丸万住宅) ⑤宇和島市(古川建築グループ)				

⑤公共施設木材利用推進事業（H18新規）

公共施設の木造化を支援し、地域材の需要拡大を図っていきます。

1 ポイント

多くの県民が集い、地域のシンボルとなる公共施設を、地域の風土にふさわしい木材を使用して木造で建設し、木の香りのする環境の提供と、木のやわらかさ、ぬくもり等木材の良さをの普及を図るとともに、木材の使用により資金を還元し、県民の共有財産である森林の整備を行います。

2 事業内容及び採択要件等

補助対象	幼稚園、保育所、小中学校、図書館、公民館、集会所、医療・福祉施設、野外活動施設等を新規に建設する経費（役場庁舎は除く）
採択条件	<p>① 建築基準法第2条第5号に定める主要構造部が木造である建築物で、延床面積200㎡以上であるもの。</p> <p>② 木材使用量に占める地域材使用割合の合計は60%以上とする。</p> <p>③ 建設単価（建築物本体工事費／延床面積）が㎡当たり200,000円を上回るもの。</p> <p>④ 建設単価には、建築物の本体工事に要する経費のみを含めることとし、用地造成、外構工事、備品購入、設計等に係る経費は含めない。</p> <p>⑤ 他の補助事業、又は起債の対象となる場合は、その補助金、又は地方債を充当した後の市町負担額に対する木造化経費の補助とする。</p> <p>工事期間が2ヶ年以上に渡る場合は、施工箇所、事業費区分等で当年度分として区分できるものを補助対象の事業費とする。ただし、採択の条件の確認が各年度において行えない場合は、最終年度において補助金の交付を行うものとする。</p>
事業主体	市町（事業実施主体：市町、学校法人、社会福祉法人 他）
補助金額	<p>木造化による建設単価が、延床面積当たり200,000円を上回る場合に、200,000円と建設単価との差額の1/2以内を、床面積当たり20,000円を上限として補助する。ただし、他の補助事業の対象となり、その補助対象単価が200,000円より高い場合は、その補助対象単価と建設単価との差額とする。</p> <p>1施設当たり補助金の上限額を20,000千円とする。ただし、補助対象面積に対する地域材使用量が0.22㎡/㎡を下回る場合は10,000千円とする。</p>

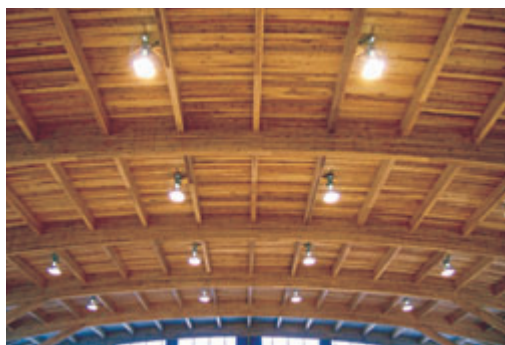
3 平成18年度実績

(1) 実績額 64,898千円

(2) 実施内容

事業主体	施設名	施設概要	補助金額
四国中央市	三島東中学校 屋内運動場	木造一部2階建て 1,348.88㎡	10,000千円
	中曽根保育園	木造平屋建て 1,193.86㎡	10,000千円
久万高原町	久万小学校 管理教室棟	木造2階建て 1,406.17㎡	7,489千円
	父二峰小学校 屋内運動場	木造平屋建て 598.40㎡	11,960千円
大洲市	大和保育所	木造平屋建て 457.90㎡	709千円
	新谷公民館 喜多山分館	木造平屋建て 255.12㎡	452千円
西予市	魚成小学校	木造一部RC造2階建て 2,540.50㎡	20,000千円
愛南町	篠山小中学校 合同校舎	木造平屋建て 1,674.23㎡	4,288千円
計			64,898千円

(3) 実施状況



三島東中学校 屋内運動場



中曽根保育園



魚成小学校

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	—	10,980人	11,200人	11,420人	11,640人	45,240人
	事業費	—	64,898千円	54,309千円	55,000千円	55,000千円	229,207千円
実績	ふれあう人数	—	1,222人				1,222人
	事業費	—	64,898千円				64,898千円
	実施箇所	—	三島東中屋内運動場 (四国中央市) 久万小管理教室棟、 父二峰小屋内運動場 (久万高原町) 大和保育所、新谷公 民館喜多山分館 (大洲市) 魚成小 (西予市) 篠山小中学校合同校 舎 (愛南町)				

⑥県立学校校舎整備事業（一部森林環境税事業）

校舎等の耐震化の推進に重点をおき、緊急性、必要性を勘案しながら、計画的に整備し、生徒に木材の良さとぬくもりを感じてもらうことを目的としています。

1 ポイント

東南海・南海地震の発生が予測されているなか、生徒の安全確保を図るため旧耐震基準で建築された校舎を対象に整備を進め、併せて木材のぬくもりにふれることによる情操教育を進める。

3階建て以上のものはRC造とするが、内装の木質化を図る。

2 平成18年度実績

(1) 実績額 1,220,043千円（うち、森林環境税17,000千円充当）

(2) 事業内容

学校名	施設名	整備概要	事業費
今治西高等学校	本館	(改築) RC造3階 1,505㎡ 内装木質化 設置教室：職員室、校長室、事務室、パソコン 教室ほか	376,033千円 (うち森林環境税8,000千円)
今治北高等学校	特別教棟	(改築) RC造4階 1,972㎡ 内装木質化 設置教室：ビジネス情報実習室、食物教室、被 服教室、音楽室ほか	463,459千円 (うち森林環境税7,000千円)
しげのぶ特別 支援学校	板塀	(設置) 檜板 H1,100×7.2m H1,400×83.1m	380,551千円 (うち森林環境税2,000千円)
計			1,220,043千円 (うち森林環境税17,000千円)

(3) 実施状況

① 今治西高等学校（本館）



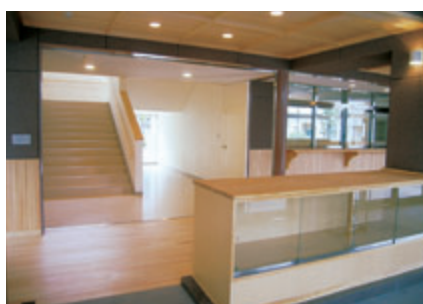
校舎北面



校舎南面



正面玄関



玄関内部



進路指導室



地学実験室



廊下

② 今治北高等学校（特別教棟）



校舎南面



校舎北面



階段



音楽室



被服室



ビジネス情報実習室

③ しげのぶ特別支援学校（板塀）



正門東側



正門西側

3 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	2,400人	2,800人	3,200人	3,600人	4,000人	16,000人
	事業費	16,000千円	17,000千円	16,000千円	16,000千円	16,000千円	81,000千円
実績	ふれあう人数	2,167人	4,936人				7,103人
	事業費	16,000千円	17,000千円				33,000千円
	実施箇所	松山商業高校本館（松山市）、川之江高校普通教棟（四国中央市）	今治西高校（今治市）、今治北高校（今治市）、しげのぶ特別支援学校（東温市）				

森とくらす活動

① 県民と森との交流促進事業

森林ボランティア活動をはじめとする県民の皆様の森林を利活用する活動の支援など、森林の積極的な利活用を促進します。

1 ポイント

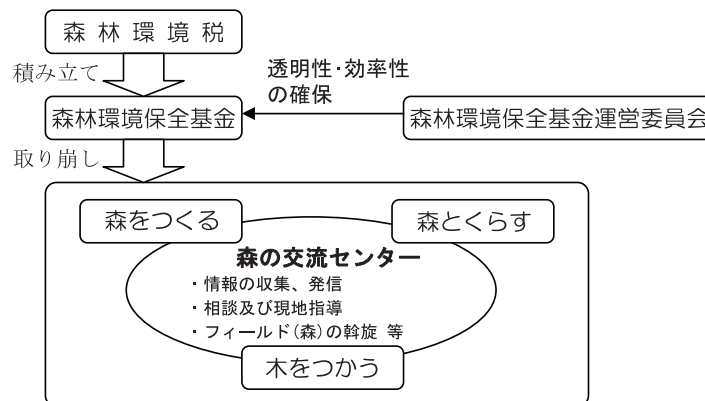
森林の利活用促進を図るため、県緑化センター内に設置した「愛媛県森の交流センター」を拠点として、森林の利活用に役立つ様々な情報提供をはじめ、個別の相談や現地での指導といった支援を積極的に行うとともに、シンボルマークや啓発用ポスター原画の活用等により、森林を利活用する活動への参加に向けた、県民の関心を喚起しています。

また、平成16年11月に制定した「えひめ山の日」を普及啓発することで、県民参加の森林づくり活動を広くアピールするため、「えひめ山の日集い」を開催しています。

加えて、森林環境税を財源とした事業について、適切な実施と透明性の確保を図るため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会を設置・開催して、事業の調査・審議を行います。

また、県民に対して森林の意義を普及啓発するため、森と緑の指導者の養成に取り組んでいます。

2 事業イメージ



3 平成18年度実績

- (1) 実績額 11,195千円（うち、森林環境税6,448千円充当）
- (2) 事業内容

(1) 県民と森との交流促進	【内容】 ○愛媛県森の交流センターの運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林の利活用に関する情報の収集と発信 ・ 森林ボランティア活動等に関する相談及び現地指導 ・ 森林利活用活動のためのフィールド（森）の斡旋 等 ○普及広報
(2) 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の運営	【委員会の概要】 森林環境税を財源とした事業について、調査・審議を行うため、公募委員を含む委員10名からなる委員会を運営。
(3) 「えひめ山の日集い」開催事業	【開催日】 平成18年11月11日（土）・12日（日） 【開催場所】 内子町五十崎自治センター 【事業内容】 「えひめ山の日」を普及啓発するシンボル事業として、森林活動をテーマとして、森や山の癒し効果と健康について体験学習会を開催。 なお、平成18年度は、「四国山の日」との併催による「四国の森づくり in えひめ山の日集い」として開催。
(4) 「えひめ山の日」普及啓発事業	「えひめ山の日」を中心として10/1から11/11を「えひめ山の日推進期間」として、県下各地で関連事業を実施してもらうなど、「えひめ山の日」の普及啓発を積極的に実施。
(5) 森と緑の指導者活用事業	「えひめ森の案内人」や「えひめ緑サポーター」を養成し、県民が森や緑に接する機会を積極的にサポートする体制を構築。

(3) 実施状況

① 愛媛県森の交流センターの運営

愛媛県森の交流センターは、森林環境税の導入目的である「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を実現するため、森づくりを行う市民グループや団体間の人的交流や情報の交流を行い、森林・林業等にかかわる情報の提供、あるいは森林所有者等による森づくりを行う拠点として、平成17年度に愛媛県緑化センター（東温市）内に設置した施設であり、以下の業務を行いました。

ア 組織

県庁農林水産部森林局森林整備課保護緑化係に属し、担当係長、担当職員、森との交流相談員及び補助職員の4名

イ 業務内容

- (ア) 森林ボランティア、NPO、森づくりを行う市民グループ等の活動を支援するため、指導者又は指導機関の斡旋、紹介や技術指導を行いました。
- (イ) 森林・林業・木材業にかかる情報について、正しい情報と的確な技術の提供・伝達や国・県・市・町が行うイベントや研修、学習会等の普及広報を行いました。
- (ウ) 県民参加の森づくりを推進するため、森林所有者から活動フィールドの提供を受けて、活動を希望する団体にフィールドの斡旋を行いました。
- (エ) その他、県民参加による森林との共生文化の創造に関して、森林環境税を活用した事業の実施や、県下で活動される団体の組織、活動内容等を情報として発信するなど、団体相互の交流を支援しました。

② 普及広報

ポスター原画最優秀作品1点を活用して森林環境税のしくみや事業内容の普及啓発を行いました。



タイトル 小さな緑から大きな緑へ
作者 石田 潤

③ 「四国の森づくりinえひめ山の日の集い」の開催

2日間にわたり、四国一円から約550名の参加者を得て、盛大に開催することができました。

ア プログラム

11月11日（土）

時間	次第	内容	出演者等
12:30	開会		
	知事あいさつ		愛媛県副知事
	歓迎あいさつ		内子町長
	表彰行事	四国山の日賞 他	四国森林管理局長 他
	森の名手・名人紹介	平成18年度認定証の伝達	(財)愛媛の森林基金理事長
	アトラクション		(地元文化芸能)
	森林づくり活動紹介	4県の事例紹介	
	記念講演	【演題】 「地球環境の保全に果たす森林の役割」	【講演者】 愛媛大学農学部教授 末田 達彦
	森の交流会 (分科会)	・ 森での安全推進部会 ・ 森林と親しむ部会 ・ 地域材利用部会 ・ 森づくり部会	座長 鶴見 武道 上原 巖 林 和男 上野 清七
17:00	閉会		

11月12日（日）

時 間	次 第	内 容	出演者等
9:00	現地体験学習会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森での安全推進部会 (安全技術・技能の習得) ・ 森林と親しむ部会 (森林療法と森林体験学習) ・ 地域材利用部会 (世界と日本の森林資源) ・ 森づくり部会 (多様な担い手による森づくり) 	部会座長 他
	全体会		部会座長
14:00	閉会		



えひめ山の日の集い開催風景

④ 愛媛県森林環境保全基金運営委員会の開催

任 期：平成17年4月1日～平成19年3月31日（2年間）

内 容：事業の透明性・公平性を確保するため、県指定事業及び公募事業の調査・審議を実施。

開催状況：

第1回委員会開催（H18.9.7）	・ H17事業実績報告及びH18事業進捗状況報告
第2回委員会開催（H19.3.22）	・ H18県指定事業の進捗及び実績報告 ・ H19公募事業審査 他



⑤ 森と緑の指導者活用事業

ア 「えひめ森の案内人」の養成

一般県民に森林に関する知識や技術の普及を図り、森の案内や野外活動等の指導者を養成するため、外部講師による計10回の講座を開催し、30名の方が修了されました。

なお、これまでに「えひめ森の案内人」となられた方は計108名であり、県下各地で県民の皆さんを森へ案内し、森に親しむための手助けをしてくれています。

回	内 容	時期・場所
1	開講式 講座「森林インストラクターをめざして」	7月8日(土)
2	講座「森林のしくみⅠ(動物)」 野鳥観察、身近な森の動物	7月22日(土)
3	講座「森林のしくみⅡ(植物)」 森林の観察法、植物の名前の種類	8月5日(土)
4	講座「森林のしくみⅢ(環境)」 森林の多様な機能	9月2日(土)
5	講座「野外活動」 楽しく安全な野外活動	9月30日(土)
6	講座「森林のしくみⅣ(昆虫)」 昆虫観察、昆虫の役割	10月21日(土)
7	講座「森林のしくみⅤ(きのこ)」 きのこの生態、日本のきのこ生産	11月4日(土)
8	講座「森林ボランティア入門」 森林ボランティアについて	11月18日(土)
9	講座「楽しい山歩き」 山での安全、野山の楽しみ方	12月2日(土)
10	講座「ネイチャーゲーム・ネイチャークラフト」 意見交換会、閉講式	12月16日(土)



イ 「えひめ緑サポータークラブ」の育成

地域緑化を推進するため、「えひめ緑サポータークラブ」を対象に、技術研修会を実施しました。

なお、「えひめ緑サポータークラブ」は、街路樹等の身近な樹木の保護活動を行うための県民レベルの実働部隊であり、現在、クラブ員は57名です。



実施日 平成19年2月3日(土)

実施内容

- ① 緑サポーターと樹木医の連携研修
- ② えひめ緑サポータークラブ総会

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計	森の交流センター 相談件数	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	10,000件	50,000件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	5,000人
	事業費	16,115千円	7,461千円	8,114千円	5,379千円	7,479千円	44,548千円
実績	森の交流センター 相談件数	1,178件	1,311件				2,489件
	「えひめ山の日の 集い」参加者数	700人	550人				1,250人
	事業費	12,828千円	6,448千円				19,278千円

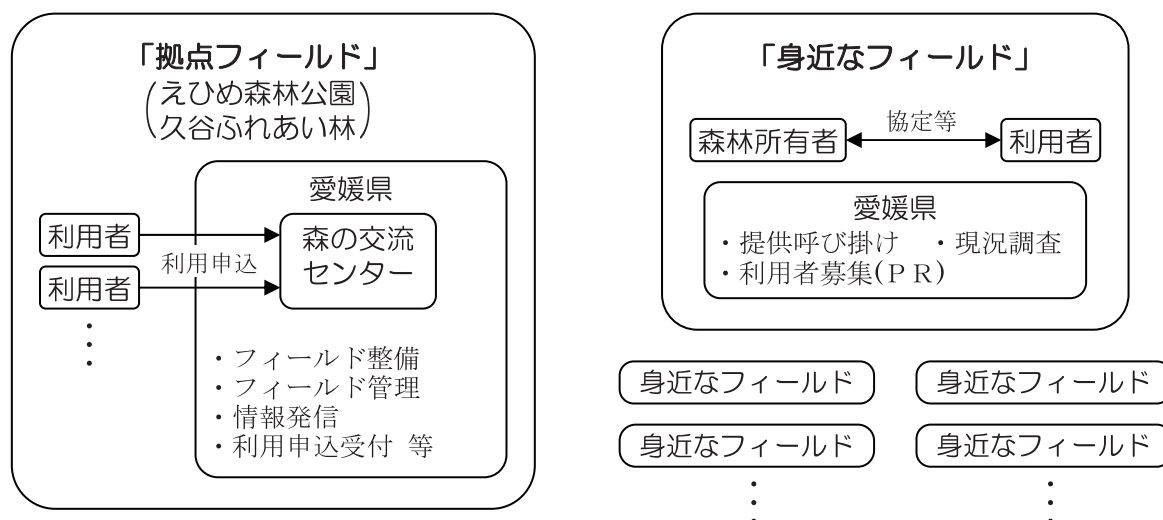
②県民参加の森設置・提供事業

県民の皆様が、手軽に森林ボランティアなどの森林を利活用する活動に参加できるようにするため、そのフィールドとなる森を整備し、活用場として提供します。

1 ポイント

手入れが行き届かず、荒廃した森林の再生を図るため、県民が手軽に、また身近に利活用できる森林を整備し提供することで、森林ボランティア活動などによる身近な山の手入れを可能にするとともに、こうした活動を通じて、県民の森林の大切さに対する意識高揚を図っています。

2 事業イメージ



3 平成18年度実績

- (1) 実績額 16,545千円
- (2) 実施内容

<p>(1) 県民参加の「拠点フィールド」設置事業</p>	<p>【概要】 伊予市の「県民参加の森 (52.8ha)」において、管理道662.1mを整備するとともに、新たに松山市の「久谷ふれあい林 (11.2ha)」を拠点フィールドに登録し、管理道534.9mを整備し、除間伐6.71haを実施。</p> <p>【利用方法】 「森の交流センター」を窓口として、森林ボランティア活動等を希望する団体からの申込を受け付け、活動の場を提供。</p>
<p>(2) 県民参加の「身近なフィールド」提供事業</p>	<p>【概要】 民間等が所有する森林を森林ボランティア活動の場として提供してもらい、希望する団体等との協定等に基づき、ボランティア活動による森林の管理を行う。</p> <p>県は森林所有者への森林の提供の呼びかけ、候補森林の現況調査、提供可能な森林についての情報発信を行う。</p> <p>【登録件数】 平成18年度登録件数6件 (平成18年度末累計24件、633.1ha)</p>

(3) 設置場所

① 拠点フィールド



アクセス等

① 県民参加の森

住所：愛媛県伊予市上三谷

「えひめ森林公園」内

アクセス：

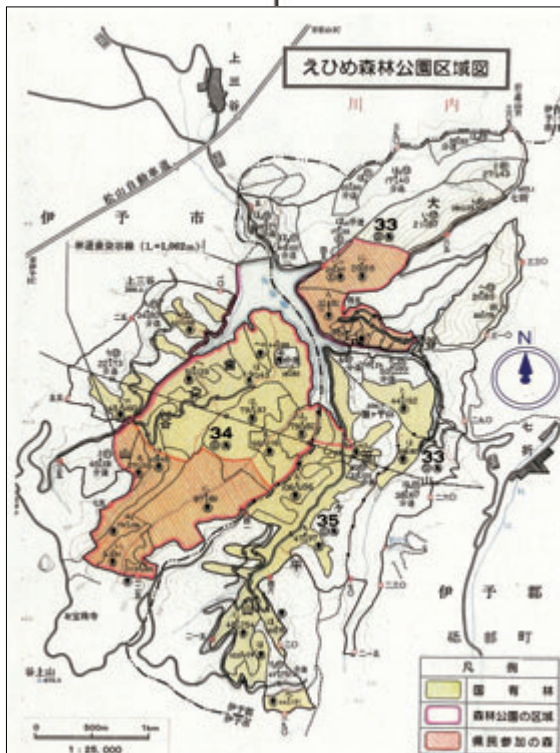
- ・伊予市方面のR56から県道伊予川内線へ、案内標識を右折
- ・R33砥部町拾町交差点から県道伊予川内線へ、案内標識を左折
- ・JRいよ横田駅から徒歩1時間

② 久谷ふれあい林

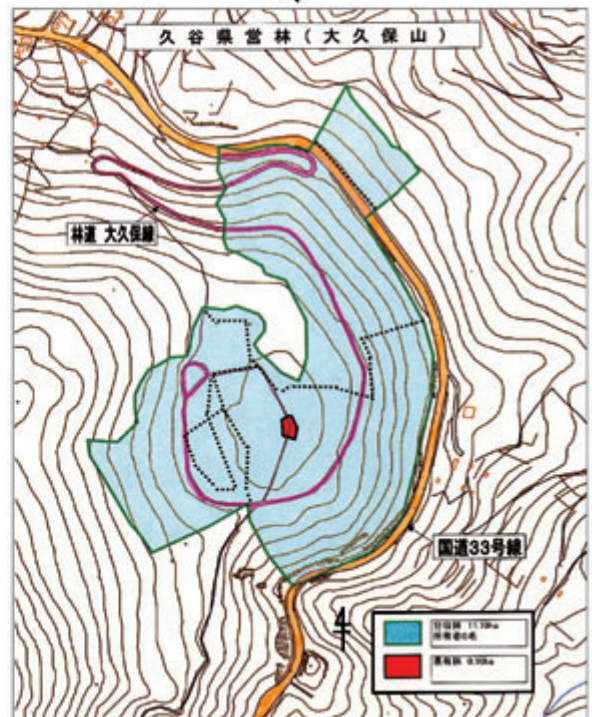
住所：愛媛県松山市久谷町

アクセス：

- ・松山市内からR33を久万高原町方面へ、大久保坂付近



「県民参加の森」は、えひめ森林公園に隣接する国有林52.83haを借り受け、森林ボランティア活動を実施する団体の「拠点フィールド」として、管理道、歩道等の整備を行っています。なお、活動に必要な機材、器具類の貸し出しもえひめ森林公園管理棟で行っていますので御利用ください。



「久谷ふれあい林」は、昭和41年に本県で開催された「全国植樹祭」の会場であり、平成18年度より「拠点フィールド」として間伐や管理道改良等の整備を進めており、平成20年には、本県で開催される「全国育樹祭」における、皇族殿下による「お手入れ行事」の開催場所となっています。

② 身近なフィールド

番号	登録年度	名称	所有者	所在地	面積(ha)	樹種	利活用団体
1	17	横谷山	市	松山市	0.60	ケヤキ、伐採跡地	(社)愛媛県トラック協会
2	17	豊岡山	町	松野町	1.51	広葉樹(一部クスギ)	
3	17	横吹森林公園	団体	鬼北町	3.12	スギ、ヒノキ、マツ	
4	17	加茂川水源の森1	個人	西条市	0.49	スギ、ヒノキ(クスギ、ケヤキ)	石鎚水源の森くらぶ
5	17	加茂川水源の森2	個人	西条市	2.60	スギ、ヒノキ(ケヤキ、ヤマザクラ)	石鎚水源の森くらぶ
6	17	若山	市	八幡浜市	21.42	スギ、ヒノキ、その他広葉樹	
7	17	田処山	個人	大洲市	0.97	ヒノキ	
8	17	三滝溪谷林	市	西予市	0.16	ヒノキ	城川町林業研究グループ
9	17	ふくさの森	個人	東温市	1.87	スギ、ヒノキ、タケ、サカキ	山の木くらぶ
10	17	黒谷2号	県	西条市	5.63	ヒノキ、クスギ、マツ	
11	17	横谷	県	松山市	38.16	スギ、ヒノキ	
12	17	松瀬川2号	県	東温市	77.86	スギ、ヒノキ	
13	17	御楨1号	県	宇和島市	463.74	スギ、ヒノキ	
14	17	御楨2号	県	宇和島市	0.80	ヒノキ	
15	17	塩ヶ森ふるさと公園	市	東温市	1.23	モミジ、サクラ、ヒノキ	
16	17	黒岩山公園	市	宇和島市	1.05	ケヤキ等広葉樹	滑床千年の森をつくる会
17	17	深山	財産区	西予市	1.74	ヤマザクラ等広葉樹	水源の森くらぶ
18	17	千疋山	市	今治市	0.98	モミジ等広葉樹	
19	18	龍王山	市	西条市	3.30	ヒノキ、ザツ	
20	18	小松山	市	西条市	2.40	ヒノキ、クスギ	
21	18	湯谷口山1	個人	西条市	0.17	竹	
22	18	湯谷口山2	個人	西条市	0.16	竹	
23	18	藤野山	個人	松山市	0.51	竹(モウソウチク)	(財)愛媛の森林基金
24	18	旧林業試験場山	県	東温市	2.58	スギ、ヒノキ、マツ	えひめ森林ボランティア連絡協議会
計					633.05		

(4) 実施状況



県民参加の森(管理道整備)



久谷ふれあい林



(管理道整備)



(除間伐)

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計	
計	ボランティア人数	拠点フィールド	1,800人	3,600人	3,600人	3,600人	3,600人	16,200人
		身近なフィールド	800人	800人	800人	800人	800人	4,000人
	設置箇所数	拠点フィールド	1箇所	1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	2箇所
		身近なフィールド	50箇所	50箇所	50箇所	50箇所	50箇所	250箇所
	事業費		19,600千円	19,667千円	34,095千円	20,933千円	8,508千円	102,803千円
実績	ボランティア人数	拠点フィールド	0人	115人				115人
		身近なフィールド	185人	364人				549人
	設置箇所数	拠点フィールド	1箇所	1箇所				2箇所
		身近なフィールド	18箇所	6箇所				24箇所
	事業費		15,130千円	16,545千円				31,675千円

③「森はともだち」推進事業（H18新規）

小学校及び中学校において、森林環境を大切にする児童生徒を育てるために、森林をテーマにした「総合的な学習の時間」の研究推進校を設置して、組織的、計画的な研究を行う。

1 ポイント

森林は、森林所有者の財産であるだけでなく、様々な公益的機能をもっており、その保全や整備については、世代を超える年月と多くの労力を要することなどについて、多くの県民に理解を深めてもらうことが必要であり、そのためには、義務教育の段階から森林環境に関する学習を進めていくことが有意義です。

そこで、「総合的な学習の時間」を活用して森林環境について学習する推進校5校を設置し、森林の保全や整備に関する理解を深めるとともに、森林環境を大切にしていこうとする態度を育て、森林環境保全意識をもった人づくりに貢献します。

2 事業内容

- (1) 目的 森林環境を大切にする児童生徒を育てる。
- (2) 事業主体 市町
- (3) 補助率 10/10
- (4) 実施方法 指定校（18・19年度：5校、19・20年度：5校）において、以下の内容に関する体験活動を実施する。
 - ・「緑の少年団」活動の推進
 - ・身近な森林や河川の状況調査
 - ・森林地域における野鳥や貴重な動植物の保護
 - ・県産木材や竹材を利用したグッズの作成
 - ・県産木材や竹材による良質な炭づくり

3 平成18年度実績

- (1) 実績額 1,575千円（事務費75千円含む。）
- (2) 事業内容

事業実施校	テ ー マ	実施内容	参加人数	事業費
新居浜市立角野中学校	森林に関心をもち、森林保全等の環境問題に進んで取り組む生徒の育成	・林業体験、下草刈り、間伐体験 ・森の観察会、森林学習	371人	300千円
今治市立鴨部小学校	森からのおくりもの ふるさと鴨部を守り育てる児童の育成	・シイタケ栽培 ・森の自然調べ、榎原山・蒼社川体験	136人	300千円
東温市立西谷小学校	西谷の自然と共に生きる児童の育成	・海の学校と環境サミット ・植林、枝打ち、下草刈り体験	93人	300千円
大洲市立肱川中学校	ふるさとを愛し、主体的に活動する生徒の育成	・炭焼き体験、炭のプレゼント作成 ・シイタケ栽培、カブトムシ飼育	95人	300千円
宇和島市立清満小学校	ふるさと清満の森を守り育てる児童の育成	・竹炭づくり、竹細工 ・「清満の森」森林学習	141人	300千円
計			836人	1,500千円

(3) 実施状況



しいたけ栽培 (鴨部小)



竹炭づくり (清満小)



海の学校と環境サミット(西谷小)



竹細工 (清満小)



森林学習 (角野中)



炭焼き (肱川中)



森の自然調べ (鴨部小)



下草刈り (西谷小)



炭のプレゼント (肱川中)



林業体験 (角野中)

4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	—	1,230人	1,230人	—	—	2,460人
	事業費	—	1,575千円	3,150千円	実績を踏まえて検討		4,725千円
実績	ふれあう人数	—	836人				836人
	事業費	—	1,575千円				1,575千円
実績	実施箇所	—	角野中 (新居浜市) 鴨部小 (今治市) 西谷小 (東温市) 肱川中 (大洲市) 清満小 (宇和島市)				

④自然観察会開催事業（H18新規）

次代を担う青少年を対象に、自然環境保全、野生動植物保護思想の醸成を図るため、植樹作業等を通じた自然保護活動体験、野外教育及び環境教育を行う自然観察会を開催します。

1 ポイント

森林と共生する文化の創造を県民一体となって推進するため、次代を担う青少年を対象に植樹作業等の自然保護活動体験や野外教育、環境教育を行い、森林が野生鳥獣に生活の場を提供していることなど、森林の有する公益的機能の理解促進と自然環境保護に対する意識の高揚を図ります。

2 事業内容

- 対象 県内在住の小・中学生及びその保護者等
- 事業主体 愛媛県（自然保護課）
- 事業内容
 - ①講習会
専門家から森林や野生鳥獣の話聞く。
 - ②自然観察
森林内に生息する野鳥等を観察する。
 - ③自然保護活動体験
広葉樹の植樹や巣箱かけを行い、野生鳥獣の生息環境を整備する。

3 平成18年度実績

- (1) 実績額 1,593千円
- (2) 実施内容

	日時	場所	内容	参加者数
第1回	H18.5.20（土）	皿ヶ嶺連峰県立自然公園 (伊予市 えひめ森林公園)	講習、自然観察、木工教室、植樹	29
第2回	H18.8.6（日）	四国カルスト県立自然公園 (西予市野村町 大野ヶ原)	講習、自然観察、木工教室	112
第3回	H18.11.19（日）	金砂湖県立自然公園 (四国中央市、新居浜市)	講習、自然観察、森林教室	38
計	3回			179

(3) 実施状況



4 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	ふれあう人数	—	210人	210人	—	—	420人
	事業費	—	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	7,600千円
実績	ふれあう人数	—	179人				179人
	事業費	—	1,593千円				1,593千円
	実施箇所	—	県立自然公園（皿ヶ嶺連峰、四国カルスト、金砂湖）				

(2) 公募事業

① 県民参加の森づくり公募事業

県民の皆様の豊かな発想を施策に反映するとともに、県民の皆様が自発的に取り組む森林の利活用等の活動を支援することで、森林に対する県民参加の具体化を図るため、広く県民の皆様からの事業提案を募集します。

1 ポイント

県が創設した「森林環境税」の目指す、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を県民と一体となって推進するため、県として取り組む森林環境税事業としてふさわしい施策を、広く県民から公募します。

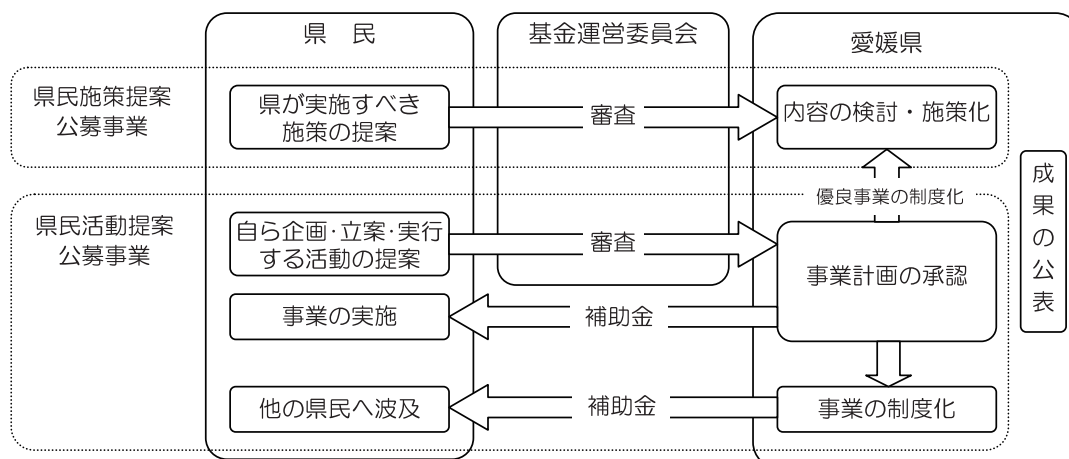
また、県民参加の具体性を確保し、県民の自発的な活動を促進するため、県民自らが企画・立案・実行する活動を公募し、補助するほか、補助した事業については、他の県民にも波及するよう制度化するとともに、必要に応じて県としての施策化も検討します。

2 事業内容及び対策要件等

愛媛県森林環境保全基金公募事業募集要領に基づき、以下のとおり県民からの事業提案を募集します。また、事業の選定は、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県で審査・検討のうえ、決定します。

(1) 県民施策提案 公募事業	【事業概要】 森林環境税を財源として県が実施すべき施策を広く県民から募集し、審査・検討のうえ、県実施事業としてふさわしいものについて施策化を検討します。
(2) 県民活動提案 公募事業	【事業概要】 森林環境税の趣旨に即し、県民が自ら企画・立案・実行する活動を広く募集し、審査・選定のうえ、適当と認めるものについては、事業実施に要する必要最小限の経費に対し、補助金を交付します。 【対象となる事業の概要】 ◆森をつくる活動に関する事業 放置森林、放置竹林、里山林等の整備活動等 ◆木をつかう活動に関する事業 木材利用推進活動、木工広場の開催等 ◆森とくらす活動に関する事業 森林環境教育、森林体験活動等 【補助率】 事業費500千円以下の部分 事業費と同額以内 事業費500千円を超える部分 1/2以内 ※ただし上限事業費2,000千円とする。

3 事業イメージ



4 平成18年度実績

○県民施策提案公募事業

施策提案 1件（現在審査中）

○県民活動提案公募事業

(1) 実績額 27,995千円

(2) 実施内容

合計70件の応募があり、愛媛県森林環境保全基金運営委員会及び県において厳正に審査のうえ、申請いただいた事業の全てを採択し、この内69件が実施されました。

なお、箇所別活動状況については、次頁以降のとおりです。

県民活動提案公募事業一覧表

大区分	小区分	要望事業費等			県選定事業費等			実施事業費等		
		件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額	件数	事業費	補助金額
森をつくる	間伐	7	3,163,630	3,009,000	7	2,903,970	2,749,000	7	2,597,313	2,523,000
	植樹	10	5,218,000	5,005,000	10	5,218,000	5,005,000	9	4,297,856	4,156,000
	竹林整備	6	2,585,050	2,584,000	6	2,458,050	2,484,000	6	2,391,729	2,384,000
	環境整備	7	3,092,000	2,584,000	7	3,092,000	2,987,000	7	3,081,447	2,961,000
	計	30	14,058,680	13,182,000	30	13,669,020	13,225,000	29	12,368,345	12,024,000
木をつかう	木工普及	4	2,033,000	2,016,000	4	2,033,000	2,016,000	4	1,910,748	1,824,000
	木工	17	6,989,460	6,947,000	17	6,929,460	6,887,000	17	6,539,298	6,522,000
	計	21	9,022,460	8,963,000	21	8,962,460	8,903,000	21	8,450,046	8,346,000
森とくらす	環境教育	6	2,426,272	2,275,000	6	2,357,832	2,206,000	6	2,064,285	2,044,000
	森林体験	10	4,256,900	4,180,000	10	4,173,350	4,157,000	10	4,106,466	4,081,000
	炭焼き	3	1,500,000	1,500,000	3	1,500,000	1,500,000	3	1,507,716	1,500,000
	計	19	8,183,172	7,955,000	19	8,036,182	7,863,000	19	7,678,467	7,625,000
合計	70	31,264,312	30,100,000	70	30,697,662	29,991,000	69	28,496,858	27,995,000	

5 全体計画

事業内容		H17	H18	H19	H20	H21	計
計画	公募事業参加者数	1,800人	5,400人	10,800人	10,800人	10,800人	39,600人
	事業費(補助金額)	20,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	30,000千円	140,000千円
実績	公募事業参加者数	8,764人	13,595人				22,359人
	事業費(補助金額)	17,695千円	27,995千円				45,690千円
実績	実施状況	応募件数	83件	70件			153件
		実施件数	42件	69件			111件

平成18年度県民活動提案公募事業一覧

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森をつくる	1	西条市	山の木クラブ	間伐	夫婦で間伐を!	都市住民が放置森(竹)林を間伐し、発生する材を炭や薪などで活用した。	279,000
	2	西条市	丹高千年の森をつくる会	間伐	学校林の活用(丹原高校)	学校林を間伐するとともにベンチを作製し、地域の老人福祉施設に配布した。	71,000
	3	西条市	竹林をよくする会	竹林整備	放置竹林の間伐、整備と竹の有効活用	放置竹林を間伐し炭や竹細工への活用を通じて、竹林整備の必要性和竹資源の有効性を普及した。	289,000
	4	今治市	奈良原さんの自然を育む会	植樹	自然環境を考える森林体験学習	地域住民に親しまれている榎原山で、児童を対象にした自然観察会の開催や広葉樹を植栽した。	450,000
	5	今治市	宮窪小学校PTA環境部	竹林整備	森林循環促進	地域で問題になっている放置竹林を伐採し、竹細工や筍料理会を開催した。	369,000
	6	東温市	えひめ千年の森をつくる会	間伐	千年の森の間伐体験	森林を間伐するとともに伐採木を搬出し、燃料として活用するバイオマス体験会を開催した。	436,000
	7	東温市	えひめ千年の森をつくる会	間伐	森林ボランティアの技術習得	森林ボランティア作業を安全に行うため、チェーンソーの取扱いに関する研修会を開催した。	304,000
	8	東温市	恵雲クラブ	竹林整備	放置竹林の整備を通じた森林環境教育活動	人工林に侵入する竹林を伐採し、発生する材を地域の親子と炭や竹細工に加工・活用した。	380,000
	9	松山市	焚き火クラブ	間伐	薪を使ってバイオマス活用	間伐した材から薪を割り、ストーブや料理でバイオマスエネルギーとして活用する体験会を開催した。	378,000
	10	松山市	オイスカ愛媛県支局	植樹	自分の森をつくろうオイスカの森INえひめPART2	石手川上流の水源かん養林で、森林の大切さを学ぶ植栽会を開催した。	342,000
	11	松山市	鷹子町ふるさと会	植樹	ふるさとの森づくり	都市住民の森林への関心を高めるため、都市近郊の里山に広葉樹を植栽した。	234,000
	12	松山市	宅並山を育てる会	植樹	森とくらす活動に関する事業	地元の小学校と連携して、地域住民に親しまれている宅並山に広葉樹を植栽した。	500,000
	13	松山市	NTTグループボランティア松山	植樹	どんぐりクラブ植樹	内部経費を充当することとし、申請廃止	0
	14	松山市	久米森と炭焼きの会	竹林整備	森林整備と炭焼きを通じた自然環境教育推進の活動	放置竹(森)林への関心を高めるため、竹林整備活動や竹細工・炭焼き会などを開催した。	426,000
	15	松山市	久米里山づくり委員会	環境整備	久米里山づくり(森の響育学校)	都市の子供たちに親しまれる里山を整備するため、遊歩道の設置、不用木の伐採、広葉樹を植栽した。	500,000
	16	松山市	えひめ中予けんせつ隊	環境整備	森林ふれあいサポート	県民に親しまれている登山道の周辺にベンチを設置するとともに広葉樹を植栽した。	565,000
	17	久万高原町	愛媛木材青年協議会	間伐	親子立木伐採体験会	山の手入れの大切さや木材への理解を深めるため、間伐体験、伐採木の搬出・製材体験会を開催した。	485,000
	18	久万高原町	久万高原町公民館父野川分館	植樹	ちちのかわ希望の森整備	森林への理解を深める場として整備中のちちのかわ希望の森に広葉樹を植栽した。	500,000
	19	久万高原町	柳谷壮年会	植樹	さくらの里づくり	急速に過疎化が進み放置森林が増加している柳谷地区へふるさとづくり活動として桜を植栽した。	580,000

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森をつくる	20	内子町	石畳小学校PTA	竹林整備	竹林有効活用	地域で問題になっている放置竹林を地域住民が間伐し、発生した材を炭や竹細工に加工・活用した。	420,000
	21	内子町	城廻自治会	環境整備	長岡山(四季の詩)公園整備	長岡山周辺森林を誰もが親しめる公園に整備するため、遊歩道の整備や広葉樹を植栽した。	232,000
	22	大洲市	財団法人新谷公益会	植樹	神南山いこいの森づくり	多くの地域住民が参加する恒例の神南山登山などにあわせて広葉樹を植栽した。	550,000
	23	大洲市	柳沢林業研究会	竹林整備	竹林の環境整備	拡大している放置竹林を伐採するとともに伐採跡地に広葉樹を植栽した。	500,000
	24	八幡浜市	宮内財産区	植樹	宮内財産区の森整備活動	森林を守る心を育むため、地元小学校6年生の卒業記念に広葉樹を植栽した。	500,000
	25	西予市	横林自治振興協議会	環境整備	夢の橋坂石湖水周辺整備	衰弱した桜並木を復活させるため、周辺森林の不用木の伐採や桜を植栽した。	350,000
	26	西予市	むらの新資源研究会・山奥組	環境整備	ふるさと広葉樹の森づくり	里山「十文田の森」を整備し活用するため、不用木の伐採、自然観察会、シイタケ植菌会を開催した。	540,000
	27	西予市	城川町林業研究会	環境整備	竜沢寺緑地公園森林浴の森づくり	竜沢寺緑地公園の周辺森林を森に親しむ場として整備するため、不用木の伐採や木製ベンチを設置した。	300,000
	28	西予市	宇和町林業研究会	環境整備	黒瀬城跡周辺森林整備	黒瀬城跡の周辺森林の不用木の伐採や散策道などを整備した。	474,000
	29	宇和島市	滑床千年の森をつくる会	間伐	滑床ふれあいの森	源流森林での間伐・枝打作業や、安全な間伐作業のための技術講習会などを開催した。	570,000
30	宇和島市	宇和島市森林と緑の推進協議会	植樹	南予アルプスフラワーロードプロジェクト	多くの県民が訪れる黒尊スーパー林道の沿線に広葉樹を植栽した。	500,000	
木をつかう	31	西条市	東予東部地区林材業振興会議	木材普及	地域材利用促進のための木造住宅情報ネットワーク	地域材を利用した木造住宅を普及する学習会や相談会を開催した。	308,000
	32	西条市	周布小学校PTA	木工	親子木工教室	森林の大切さや木材の良さを学ぶ親子木工教室を開催した。	56,000
	33	今治市	ボランティアグループたまがわ	木工	森林と親しむ「木・子・里」体験教室	間伐や枝打ちなど森林整備体験や伐採木を使用した木工教室を開催した。	289,000
	34	東温市	木でつながるなかま「円い森」	木工	木と遊ぶ楽しい時間「トントンギコギコ図工の時間」編	映画「トントンギコギコ図工の時間」の鑑賞会と端材を使った自由な発想の木工教室を開催した。	270,000
	35	東温市	木でつながるなかま「円い森」	木工	木と遊ぶ楽しい時間「どうぞのいす」編	子ども劇場「どうぞのいす」の観劇会と木の玉や木のおもちゃに遊んで触れる体験会を開催した。	380,000
	36	松山市	NPO法人アジアフィルムネットワーク	木材普及	新型木製品試作ワークショップ	ボールペン、ピンホールカメラなどの新型木製品の試作会を開催した。	516,000
	37	松山市	愛媛県森林組合職員連盟本会支部	木材普及	木材市売り体験・間伐材ベンチ製作	原木市場や木材流通市場で児童を対象にした木の学習会や、ベンチ製作会を開催した。	500,000
	38	松山市	高浜森林守り隊	木工	ドームと友だち	木製ドームの組立から活用を通じて、木に親しみ森林への理解を深める体験会を開催した。	389,000
	39	松山市	NPO法人えひめグローバルネットワーク	木工	地域と世界、山と川をつなぐワークショップ	間伐・枝打ち作業、川掃除用リヤカー作製、川掃除の実施から、山から川へのつながりを体験した。	350,000

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
木をつかう	40	松山市	NPO法人松山子ども劇場21	木工	感じよう木のぬくもり間伐材をつかった工作	暮らしの中に木材を身近に感じよう、身近な木製品の作製会を開催した。	452,000
	41	松山市	まちづくり松山	木工	世代間交流を通じ森と木製品のつながりを知る木工体験教室	木材の関心を高める木工体験会を松山市中心部の大街道商店街で開催した。	453,000
	42	松山市	愛媛県ウッドカービング同好会	木工	県産材利用促進のための木の彫刻活動	間伐と伐採木を使用した彫刻会(チェーンソーアート)を開催した。	283,000
	43	松山市	ひめゆりグループ	木工	アルプホルンによる都市と山村の交流	間伐への理解を深める作業体験やアルプホルンの作製会を開催した。	500,000
	44	久万高原町	久万高原町森林と緑の推進協議会	木工	親子木工コーナーの常設	愛媛県林業技術センターと連携して、展示館内に常時木工が行える木工コーナーを設置した。	250,000
	45	大洲市	大洲喜多地産地消の家づくり協議会	木材普及	大洲喜多地産地消の家づくり促進	木材の地産地消の意識を高めるため、間伐体験会や家づくりの木材活用学習会を開催した。	500,000
	46	大洲市	肱東中学校教養部	木工	親子木工教室	地域材を使用したベンチを作製し、地域住民に広く利用される中学校の運動場に設置した。	500,000
	47	大洲市	中野幼稚園・小学校PTA	木工	親子木工教室	地域材を使用したベンチや本箱を作製し、小学校や公民館などに設置・配布した。	500,000
	48	八幡浜市	八西林業研究グループ	木工	親子木工広場開催	木材のふれあいを通して森林・自然への理解を深める木工教室を開催した。	450,000
	49	西予市	石城レクバレーチーム	木工	木材とのふれあい促進	地域のスギ材を使用したベンチ等を作製し、公民館などに設置した。	500,000
	50	西予市	西予市森林と緑の推進協議会	木工	親子で木工体験	木材に触れ森林への関心を高める木工広場を開催した。	400,000
51	西予市	元気みやのうら	木工	木材とのふれあい促進	スギ材を使用したベンチ等を作製し、公民館などに配布した。	500,000	
森とくらす	52	四国中央市	下川地区農業振興会	炭焼	下川の里山に炭焼き復活を！炭窯づくり	放置された里山の整備を地域をあげて取り組むため、発生した材を炭に加工する炭窯を設置した。	500,000
	53	新居浜市	夢遊友うずい	環境教育	広葉樹林の整備を通じた森林環境教育	児童の森林への関心を高めるシイタケ植菌会を開催した。	61,000
	54	新居浜市	別子山村残しの会	森林体験	別子山地区森林と歴史を学ぶ会	旧別子山村の森林で、森林整備の理解を深める森林観察会や間伐体験会を開催した。	292,000
	55	西条市	スタジオもみじまる	森林体験	石鎚山森の学校2006夏	石鎚山頂周辺の森林で、自然観察会や風倒木の整理などの森林保全体験会を開催した。	480,000
	56	西条市	オフィスシステムセブン	森林体験	森の音楽教室	間伐材を使用した楽器作製や演奏を通して自然環境への関心を高めるイベントを開催した。	506,000
	57	東温市	えひめ千年の森をつくる会	環境教育	千年の森の自然体験教室	児童を対象に下刈、木工、シイタケ植菌などの自然教室を開催した。	431,000
	58	東温市	ふくさの森の会	森林体験	森と木造の家の饗筵	地域の元集会所と周辺森林で、森とのふれあい(林業・生活)体験会を開催した。	500,000
	59	松山市	松山こども夢ひろば	環境教育	こども森の学校	松山総合公園内の森林で間伐作業を通じた森林環境教育を実施した。	499,000

項目	整理番号	箇所	事業主体	区分	事業名	事業の概要	補助金額(円)
森とくらす	60	松山市	ムッターシューレ愛媛	環境教育	街の中の森の広場	幼児と親に木に親しんでもらうため、クラフト、森のクイズなどのイベントを開催した。	500,000
	61	松山市	チームプロジェクト与作	環境教育	プロジェクト与作(里山再生プログラム)	ベンチづくりを通して木材の循環利用を考える森林環境教育を実施した。	488,000
	62	松山市	えひめ森林ボランティア連絡協議会	森林体験	県民参加の森づくり推進	森林ボランティア活動への理解と参加を図るための普及活動や技術の向上を図る研修会を開催した。	500,000
	63	松山市	NPO法人自然環境教育えことのは	森林体験	森の時間その2 森のレストラン	石手川源流の森林で、食材を探して学ぶ森林散策会や森の恵みを生かした料理体験会などを開催した。	473,000
	64	伊予市	ボランティアやろーぜ	環境教育	森林環境体験教室(親子)の開催	えひめ森林公園内に生息する昆虫と森林との関わりから、森林の仕組みについて学ぶ自然教室を開催した。	65,000
	65	伊予市	森林・自然体験活動連絡会	森林体験	森林・自然体験活動推進	森林・自然への理解を深める竹クラフト、ネイチャーゲーム、キノコ観察会などを開催した。	481,000
	66	伊予市	えひめ森の案内人会	森林体験	森とふれあい・森の恵みのクラフトづくり	人工林に侵入したつるや竹を取り除くとともに、これを活用したクラフト教室を開催した。	260,000
	67	八幡浜市	さんきら自然塾	森林体験	出石山緑の宝物図鑑作成と春夏秋冬森の役割観察会	出石山の樹木・自然パンフレットを作成し、自然観察会や出前環境講座を開催した。	489,000
	68	西予市	妄想(孟宗竹)コンドルの会	炭焼	放置竹林の再生と竹炭をつかった地域の活性化	拡大する放置竹林を整備し、炭に加工・活用するため炭窯を設置し、児童を対象にした森林教室を開催した。	500,000
	69	西予市	社会福祉法人宇和町社会福祉施設協会希望の森	炭焼	炭焼き・しいたけ栽培体験	木材の大切さを森の恵みを体験するため、炭焼きやしいたけ植菌会を開催した。	500,000
	70	愛南町	南宇和精神障害者の社会参加を進める会	森林体験	親子で里山ふれあい事業森林散策と紙すき体験を通じて	里山散策や紙すき体験など森林体験会を開催した。	100,000
合 計							27,995,000

平成 18 年度県民活動提案公募事業箇所別活動状況


〈森をつくる活動〉

整理番号 1

事業名	夫婦で間伐を！
事業主体名	山の木クラブ
代表者名	代表者名：田内 秀樹 会 員：20 名
事務局住所	松山市緑町 2 丁目 7 番地 1
連絡先	担当者名：田内 秀樹 電 話：089-947-9111 (7062)
実施箇所	西条市
事業の概要	都市住民が放置森（竹）林を間伐し、発生する材を炭や薪などで活用した。
事業費	事業費：279,633 円 補助金額：279,000 円
活動状況	活動回数：15 回 参加延べ人数：66 人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 2

事業名	学校林の活用（丹原高校）
事業主体名	丹高千年の森をつくる会
代表者名	代表者名：安藤 哲次 会 員：8 名
事務局住所	西条市願連寺 163（丹原高校内）
連絡先	担当者名：安藤 哲次 電 話：0898-68-7325
実施箇所	西条市
事業の概要	学校林を間伐するとともにベンチを作製し、地域の老人福祉施設に配布した。
事業費	事業費：71,628 円 補助金額：71,000 円
活動状況	活動回数：2 回 参加延べ人数：12 人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 3

事業名	放置竹林の間伐、整備と竹の有効活用	
事業主体名	竹林をよくする会	
代表者名	代表者名：前 弘之	会 員：52 名
事務局住所	西条市兎之山甲 201-1	
連絡先	担当者名：前 弘之	電 話：0897-53-3778
実施箇所	西条市	
事業の概要	放置竹林の間伐し炭や竹細工への活用を通じて、竹林整備の必要性と竹資源の有効性を普及した。	
事業費	事業費：289,678 円	補助金額：289,000 円
活動状況	活動回数：20 回	参加延べ人数：841 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 4

事業名	自然環境を考える森林体験学習	
事業主体名	奈良原さんの自然を育む会	
代表者名	代表者名：青井 三郎	会 員：66 名
事務局住所	今治市大西町新町甲 1026-7	
連絡先	担当者名：青井 三郎	電 話：0898-53-3039
実施箇所	今治市	
事業の概要	地域住民に親しまれている栖原山で、児童を対象にした自然観察会の開催や広葉樹を植栽した。	
事業費	事業費：454,455 円	補助金額：450,000 円
活動状況	活動回数：5 回	参加延べ人数：131 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 5

事業名	森林循環促進	
事業主体名	宮窪小学校 PTA 環境部	
代表者名	代表者名：渡邊 祐子	会 員：136 名
事務局住所	今治市宮窪町友浦 3223	
連絡先	担当者名：渡邊 祐子	電 話：0897-86-3924
実施箇所	今治市	
事業の概要	地域で問題になっている放置竹林を伐採し、竹細工や筍料理会を開催した。	
事業費	事業費：369,241 円	補助金額：369,000 円
活動状況	活動回数：5 回	参加延べ人数：173 人
状況写真		


〈森をつくる活動〉

整理番号 6

事業名	千年の森の間伐体験	
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会	
代表者名	代表者名：鶴見 武道	会 員：270 名
事務局住所	東温市井内甲 915-2	
連絡先	担当者名：鶴見 恵子	電 話：089-966-6251
実施箇所	東温市	
事業の概要	森林の間伐するとともに伐採木を搬出し、燃料として活用するバイオマス体験会を開催した。	
事業費	事業費：436,434 円	補助金額：436,000 円
活動状況	活動回数：12 回	参加延べ人数：208 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 7

事業名	森林ボランティアの技術習得	
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会	
代表者名	代表者名：鶴見 武道	会 員：270 名
事務局住所	東温市井内甲 915-2	
連絡先	担当者名：鶴見 恵子	電 話：089-966-6251
実施箇所	東温市	
事業の概要	森林ボランティア作業を安全に行うため、チェーンソーの取扱いに関する研修会を開催した。	
事業費	事業費：304,418 円	補助金額：304,000 円
活動状況	活動回数：2 回	参加延べ人数：79 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 8

事業名	放置竹林の整備を通じた森林環境教育活動	
事業主体名	恵雲クラブ	
代表者名	代表者名：勇 友幸	会 員：10 名
事務局住所	東温市則之内甲 2791	
連絡先	担当者名：勇 友幸	電 話：089-966-3259
実施箇所	東温市	
事業の概要	人工林に侵入する竹林を伐採し、発生する材を地域の親子と炭や竹細工に加工・活用した。	
事業費	事業費：382,528 円	補助金額：380,000 円
活動状況	活動回数：12 回	参加延べ人数：108 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 9

事業名	薪を使ってバイオマス活用	
事業主体名	焚き火クラブ	
代表者名	代表者名：大成 郁生	会 員：21 名
事務局住所	松山市南久米町 514-16	
連絡先	担当者名：大成 郁生	電 話：089-976-1594
実施箇所	松山市	
事業の概要	間伐した材から薪を割り、ストーブや料理でバイオマスエネルギーとして活用する体験会を開催した。	
事業費	事業費：378,120 円	補助金額：378,000 円
活動状況	活動回数：4 回	参加延べ人数：389 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 10

事業名	自分の森をつくろうオイスカの森 IN えひめ PART 2	
事業主体名	オイスカ愛媛県支局	
代表者名	代表者名：宮嶋 祥式	会 員：179 名
事務局住所	松山市鷹子町 588-3 (東予産業(株)内)	
連絡先	担当者名：佐々木みか	電 話：089-970-3100
実施箇所	松山市	
事業の概要	石手川上流の水源かん養林で、森林の大切さを学ぶ植栽会を開催した。	
事業費	事業費：346,637 円	補助金額：342,000 円
活動状況	活動回数：3 回	参加延べ人数：743 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 11

事業名	ふるさとの森づくり	
事業主体名	鷹子町ふるさと会	
代表者名	代表者名：三好 清春	会 員：42 名
事務局住所	松山市鷹子町 744	
連絡先	担当者名：戒能 洋平	電 話：089-975-0311
実施箇所	松山市	
事業の概要	都市住民の森林への関心を高めるため、都市近郊の里山に広葉樹を植栽した。	
事業費	事業費：234,111 円	補助金額：234,000 円
活動状況	活動回数：2 回	参加延べ人数：33 人
状況写真		


〈森をつくる活動〉

整理番号 12

事業名	森とくらす活動に関する事業	
事業主体名	宅並山を育てる会	
代表者名	代表者名：有田 晋作	会 員：109 名
事務局住所	松山市二番町 4 丁目 7-2 (松山市役所松山駅周辺整備課内)	
連絡先	担当者名：大森 武志	電 話：089-948-6508
実施箇所	松山市	
事業の概要	地元の小学校と連携して、地域住民に親しまれている宅並山に広葉樹を植栽した。	
事業費	事業費：500,000 円	補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：7 回	参加延べ人数：373 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 14

事業名	森林整備と炭焼きを通じた自然環境教育推進の活動	
事業主体名	久米森と炭焼きの会	
代表者名	代表者名：片岡伸二郎	会 員：10 名
事務局住所	松山市来住町 1377-4（来住ふれあいセンター内）	
連絡先	担当者名：片岡伸二郎	電 話：089-975-0604
実施箇所	松山市	
事業の概要	放置竹（森）林への関心を高めるため、竹林整備活動や竹細工・炭焼会などを開催した。	
事業費	事業費：426,578 円	補助金額：426,000 円
活動状況	活動回数：22 回	参加延べ人数：616 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 15

事業名	久米里山づくり（森の響育学校）	
事業主体名	久米里山づくり委員会	
代表者名	代表者名：安永 耕造	会 員：37 名
事務局住所	松山市鷹子町 823（久米公民館内）	
連絡先	担当者名：安永 耕造	電 話：089-976-8438
実施箇所	松山市	
事業の概要	都市の子供たちに親しまれる里山を整備するため、遊歩道の設置、不用木の伐採、広葉樹を植栽した。	
事業費	事業費：505,077 円	補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：8 回	参加延べ人数：161 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 16

事業名	森林ふれあいサポート	
事業主体名	えひめ中予けんせつ隊	
代表者名	代表者名：近藤 修	会 員：22 名
事務局住所	松山市桑原 4 丁目 11-3	
連絡先	担当者名：土居 通由	電 話：089-934-0365
実施箇所	松山市	
事業の概要	県民に親しまれている登山道の周辺にベンチを設置するとともに広葉樹を植栽した。	
事業費	事業費：635,699 円	補助金額：565,000 円
活動状況	活動回数：3 回	参加延べ人数：86 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 17

事業名	親子立木伐採体験会	
事業主体名	愛媛木材青年協議会	
代表者名	代表者名：岡 慎治	会 員：19 名
事務局住所	久万高原町菅生 2-1326-1	
連絡先	担当者名：井部健太郎	電 話：0892-21-0017
実施箇所	久万高原町	
事業の概要	山の手入れの大切さや木材への理解を深めるため、間伐体験、伐採木の搬出・製材体験会を開催した。	
事業費	事業費：485,632 円	補助金額：485,000 円
活動状況	活動回数：1 回	参加延べ人数：62 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 18

事業名	ちちのかわ希望の森整備
事業主体名	久万高原町公民館父野川分館
代表者名	代表者名：片岡 重雄
事務局住所	上浮穴郡久万高原町父野川甲 329-2
連絡先	担当者名：岡田 壽 電話：0892-21-1814
実施箇所	久万高原町
事業の概要	森林への理解を深める場として整備中のちちのかわ希望の森に広葉樹を植栽した。
事業費	事業費：500,000円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：50人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 19

事業名	さくらの里づくり
事業主体名	柳谷壮年会
代表者名	代表者名：矢野 文隆 会員：93名
事務局住所	上浮穴郡久万高原町柳井川 923 (久万高原町役場柳谷支所内)
連絡先	担当者名：三本 一雄 電話：0892-54-2121
実施箇所	久万高原町
事業の概要	急速に過疎化が進み放置森林が増加している柳谷地区へふるさとづくり活動として桜を植栽した。
事業費	事業費：662,063円 補助金額：580,000円
活動状況	活動回数：9回 参加延べ人数：440人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 20

事業名	竹林有効活用	
事業主体名	石畳小学校 PTA	
代表者名	代表者名：山田 恭一	会 員：15 名
事務局住所	喜多郡内子町石畳 2910	
連絡先	担当者名：寶泉 武徳	電 話：0893-44-2199
実施箇所	内子町	
事業の概要	地域で問題になっている放置竹林を地域住民が間伐し、発生した材を炭や竹細工に加工・活用した。	
事業費	事業費：423,704 円	補助金額：420,000 円
活動状況	活動回数：9 回	参加延べ人数：220 人
状況写真		

〈森をつくる活動〉

整理番号 21

事業名	長岡山（四季の詩）公園整備	
事業主体名	城廻自治会	
代表者名	代表者名：木村 幸保	会 員：630 名
事務局住所	喜多郡内子町城廻 248	
連絡先	担当者名：山本 高夫	電 話：0893-44-3322
実施箇所	内子町	
事業の概要	長岡山周辺森林を誰もが親しめる公園に整備するため、遊歩道の整備や広葉樹を植栽した。	
事業費	事業費：232,000 円	補助金額：232,000 円
活動状況	活動回数：5 回	参加延べ人数：90 人
状況写真		


〈森をつくる活動〉

整理番号 22

事業名	神南山いこいの森づくり		
事業主体名	財団法人新谷公益会		
代表者名	代表者名：山中 誠		
事務局住所	大洲市新谷甲 279-3		
連絡先	担当者名：矢野 吉信	電話：0893-25-4642	
実施箇所	大洲市		
事業の概要	多くの地域住民が参加する恒例の神南山登山などにあわせて広葉樹を植栽した。		
事業費	事業費：600,000円	補助金額：550,000円	
活動状況	活動回数：4回	参加延べ人数：127人	
状況写真			

〈森をつくる活動〉

整理番号 23

事業名	竹林の環境整備		
事業主体名	柳沢林業研究会		
代表者名	代表者名：高岡 貴幸	会員：37名	
事務局住所	大洲市菅田町菅田甲 1954-42		
連絡先	担当者名：増岡 学	電話：0893-25-4030	
実施箇所	大洲市		
事業の概要	拡大している放置竹林を伐採するとともに伐採跡地に広葉樹を植栽した。		
事業費	事業費：500,000円	補助金額：500,000円	
活動状況	活動回数：2回	参加延べ人数：39人	
状況写真			


〈森をつくる活動〉

整理番号 24

事業名	宮内財産区の森整備活動
事業主体名	宮内財産区
代表者名	代表者名：兵頭 兼利
事務局住所	八幡浜市保内町宮内 1 番耕地 260 (八幡浜市役所保内庁内)
連絡先	担当者名：小野 良二 電話：0894-22-3111
実施箇所	八幡浜市
事業の概要	森林を守る心を育むため、地元小学校 6 年生の卒業記念に広葉樹を植栽した。
事業費	事業費：500,590 円 補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：3 回 参加延べ人数：73 人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 25

事業名	夢の橋坂石湖水周辺整備
事業主体名	横林自治振興協議会
代表者名	代表者名：清水 真一 会員：233 名
事務局住所	西予市野村町坂石 2571
連絡先	担当者名：武田 安幸 電話：0894-77-0111
実施箇所	西予市
事業の概要	衰弱した桜並木を復活させるため、周辺森林の不用木の伐採や桜を植栽した。
事業費	事業費：351,330 円 補助金額：350,000 円
活動状況	活動回数：6 回 参加延べ人数：69 人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 26

事業名	ふるさと広葉樹の森づくり
事業主体名	むらの新資源研究会・山奥組
代表者名	代表者名：萩野 久利 会 員：124 名
事務局住所	西予市野村町野村 12 号 619
連絡先	担当者名：井上 登 電 話：0894-72-1111
実施箇所	西予市
事業の概要	里山「十文田の森」を整備し活用するため、不用木の伐採、自然観察会、シイタケ植菌会を開催した。
事業費	事業費：582,601 円 補助金額：540,000 円
活動状況	活動回数：6 回 参加延べ人数：127 人
状況写真	


〈森をつくる活動〉

整理番号 27

事業名	竜沢寺緑地公園森林浴の森づくり
事業主体名	城川町林業研究会
代表者名	代表者名：増田 清 会 員：25 名
事務局住所	西予市城川町下相 566-1
連絡先	担当者名：三瀬 逸雄 電 話：0894-82-0192
実施箇所	西予市
事業の概要	竜沢寺緑地公園の周辺森林を森に親しむ場として整備するため、不用木の伐採や木製ベンチを設置した。
事業費	事業費：300,675 円 補助金額：300,000 円
活動状況	活動回数：3 回 参加延べ人数：31 人
状況写真	

〈森をつくる活動〉

整理番号 28

事業名	黒瀬城跡周辺森林整備
事業主体名	宇和町林業研究会
代表者名	代表者名：二宮 一雄 会 員：34 名
事務局住所	西予市宇和町卯之町 4 丁目 746
連絡先	担当者名：山本 和可 電 話：0894-62-1179
実施箇所	西予市
事業の概要	黒瀬城跡の周辺森林の不用木の伐採や散策道などを整備した。
事業費	事業費：474,065 円 補助金額：474,000 円
活動状況	活動回数：12 回 参加延べ人数：43 人
状況写真	


〈森をつくる活動〉

整理番号 29

事業名	滑床ふれあいの森
事業主体名	滑床千年の森をつくる会
代表者名	代表者名：安藤 哲次 会 員：88 名
事務局住所	松山市平井町 1486
連絡先	担当者名：安藤 哲次 電 話：089-975-1434
実施箇所	宇和島市
事業の概要	源流森林での間伐・枝打作業や、安全な間伐作業のための技術講習会などを開催した。
事業費	事業費：641,448 円 補助金額：570,000 円
活動状況	活動回数：7 回 参加延べ人数：111 人
状況写真	


〈森をつくる活動〉

整理番号 30

事業名	南予アルプスフラワーロードプロジェクト
事業主体名	宇和島市森林と緑の推進協議会
代表者名	代表者名：石橋 久寛 会 員：26 名
事務局住所	宇和島市曙町 1
連絡先	担当者名：山田 政彦 電 話：0895-24-1111
実施箇所	宇和島市
事業の概要	多くの県民が訪れる黒尊スーパー林道の沿線に広葉樹を植栽した。
事業費	事業費：500,000 円 補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：2 回 参加延べ人数：33 人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 31

事業名	地域材利用促進のための木造住宅情報ネットワーク
事業主体名	東予東部地区林材業振興会議
代表者名	代表者名：井原 巧 会 員：12 団体
事務局住所	西予市丹原町池田 1611
連絡先	担当者名：伊藤 恒夫 電 話：0898-68-7438
実施箇所	西条市
事業の概要	地域材を利用した木造住宅を普及する学習会や相談会を開催した。
事業費	事業費：308,480 円 補助金額：308,000 円
活動状況	活動回数：6 回 参加延べ人数：70 人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 32

事業名	親子木工教室
事業主体名	周布小学校 PTA
代表者名	代表者名：首藤 栄一 会 員：156 名
事務局住所	西条市周布 1521
連絡先	担当者名：白石由美子 電 話：0898-68-7116
実施箇所	西条市
事業の概要	森林の大切さや木材の良さを学ぶ親子木工教室を開催した。
事業費	事業費：56,469 円 補助金額：56,000 円
活動状況	活動回数：1 回 参加延べ人数：51 人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 33

事業名	森林と親しむ「木・子・里」体験教室
事業主体名	ボランティアグループたまがわ
代表者名	代表者名：森 松夫 会 員：31 名
事務局住所	今治市玉川町摺木甲 35-4
連絡先	担当者名：品部 政夫 電 話：0898-55-2431
実施箇所	今治市
事業の概要	間伐や枝打ちなど森林整備体験や伐採木を使用した木工教室を開催した。
事業費	事業費：289,339 円 補助金額：289,000 円
活動状況	活動回数：6 回 参加延べ人数：109 人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 34

事業名	木と遊ぶ楽しい時間「トントングコギコ図工の時間」編	
事業主体名	木でつながるなかま「円い森」	
代表者名	代表者名：高橋佐智子	会 員：3名
事務局住所	松山市平田町 419	
連絡先	担当者名：高橋佐智子	電 話：089-979-6388
実施箇所	東温市	
事業の概要	映画「トントングコギコ図工の時間」の鑑賞会と端材を使った自由な発想の木工教室を開催した。	
事業費	事業費：271,680円	補助金額：270,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：136人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 35

事業名	木と遊ぶ楽しい時間「どうぞのいす」編	
事業主体名	木でつながるなかま「円い森」	
代表者名	代表者名：高橋佐智子	会 員：3名
事務局住所	松山市平田町 419	
連絡先	担当者名：高橋佐智子	電 話：089-979-6388
実施箇所	東温市	
事業の概要	子ども劇場「どうぞのいす」の観劇会と木の玉や木のおもちゃに遊んで触れる体験会を開催した。	
事業費	事業費：381,120円	補助金額：380,000円
活動状況	活動回数：1回	参加延べ人数：208人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 36

事業名	新型木製品試作ワークショップ	
事業主体名	NPO 法人アジアフィルムネットワーク	
代表者名	代表者名：福岡 晋也	会 員：32 名
事務局住所	松山市大街道 1 丁目 3-1	
連絡先	担当者名：泉谷 昇	電 話：089-934-0310
実施箇所	松山市	
事業の概要	ボールペン、ピンホールカメラなどの新型木製品の試作会を開催した。	
事業費	事業費：535,654 円	補助金額：516,000 円
活動状況	活動回数：19 回	参加延べ人数：491 人
状況写真		


〈木をつかう活動〉

整理番号 37

事業名	木材市売り体験・間伐材ベンチ製作	
事業主体名	愛媛県森林組合職員連盟本会支部	
代表者名	代表者名：井谷 渙郎	会 員：47 名
事務局住所	松山市三番町 4 丁目 4 番地 1	
連絡先	担当者名：井谷 渙郎	電 話：089-941-0164
実施箇所	松山市	
事業の概要	原木市場や木材流通市場で児童を対象にした木の学習会や、ベンチ作製会を開催した。	
事業費	事業費：504,921 円	補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：1 回	参加延べ人数：57 人
状況写真		


〈木をつかう活動〉

整理番号 38

事業名	ドームと友だち
事業主体名	高浜森林守り隊
代表者名	代表者名：坂和 博子 会 員：59 名
事務局住所	松山市上野町甲 650 (愛媛県総合教育センター)
連絡先	担当者名：古鎌 幸一 電 話：089-963-3111
実施箇所	松山市
事業の概要	木製ドームの組立から活用を通じて、木に親しみ森林への理解を深める体験会を開催した。
事業費	事業費：389,000 円 補助金額：389,000 円
活動状況	活動回数：5 回 参加延べ人数：458 人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 39

事業名	地域と世界、山と川をつなぐワークショップ
事業主体名	NPO 法人えひめグローバルネットワーク
代表者名	代表者名：竹内よし子 会 員：104 人
事務局住所	松山市祝谷 4-1-13
連絡先	担当者名：竹内よし子 電 話：089-925-0027
実施箇所	松山市
事業の概要	間伐・枝打ち作業、川掃除用りヤカー作製、川掃除の実施から、山から川へのつながりを体験した。
事業費	事業費：350,467 円 補助金額：350,000 円
活動状況	活動回数：3 回 参加延べ人数：49 人
状況写真	


〈木をつかう活動〉

整理番号 40

事業名	“感じよう木のぬくもり”間伐材をつかった工作	
事業主体名	NPO 法人松山子ども劇場 21	
代表者名	代表者名：中矢 操	会 員：700 名
事務局住所	松山市三番町 6-5-7	
連絡先	担当者名：竜子 真紀	電 話：089-945-0031
実施箇所	松山市	
事業の概要	暮らしの中に木材を身近に感じるよう、身近な木製品の作製会を開催した。	
事業費	事業費：452,762 円	補助金額：452,000 円
活動状況	活動回数：2 回	参加延べ人数：166 人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 41

事業名	世代間交流を通じ森と木製品のつながりを知る木工体験教室	
事業主体名	まちづくり松山	
代表者名	代表者名：日野 二郎	
事務局住所	松山市大街道 1 丁目 3-1	
連絡先	担当者名：森 忠士	電 話：089-998-3533
実施箇所	松山市	
事業の概要	木材の関心を高める木工体験会を松山市中心部の大街道商店街で開催した。	
事業費	事業費：453,514 円	補助金額：453,000 円
活動状況	活動回数：1 回	参加延べ人数：46 人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 42

事業名	県産材利用促進のための木の彫刻活動	
事業主体名	愛媛県ウッドカービング同好会	
代表者名	代表者名：橋本 剛	会 員：11 名
事務局住所	松山市南久米町 514-16	
連絡先	担当者名：大成 郁生	電 話：089-975-5885
実施箇所	松山市	
事業の概要	間伐と伐採木を使用した彫刻会（チェーンソーアート）を開催した。	
事業費	事業費：283,012 円	補助金額：283,000 円
活動状況	活動回数：8 回	参加延べ人数：141 人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 43

事業名	アルプホルンによる都市と山村の交流	
事業主体名	ひめゆりグループ	
代表者名	代表者名：河野 享子	会 員：15 名
事務局住所	松山市青波町甲 234	
連絡先	担当者名：河野 享子	電 話：089-977-5726
実施箇所	松山市	
事業の概要	間伐への理解を深める作業体験やアルプホルンの作製会を開催した。	
事業費	事業費：504,199 円	補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：13 回	参加延べ人数：163 人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 44

事業名	親子木工コーナーの常設
事業主体名	久万高原町森林と緑の推進協議会
代表者名	代表者名：玉水 寿清 会 員：8名
事務局住所	上浮穴郡久万高原町久万 212
連絡先	担当者名：大西 康雄 電 話：0892-21-1111
実施箇所	久万高原町
事業の概要	愛媛県林業技術センターと連携して、展示館内に常時木工が行える木工コーナーを設置した。
事業費	事業費：250,000円 補助金額：250,000円
活動状況	活動回数：81回 参加延べ人数：618人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 45

事業名	大洲喜多地産地消の家づくり促進
事業主体名	大洲喜多地産地消の家づくり協議会
代表者名	代表者名：窪田 亀一 会 員：7名
事務局住所	大洲市菅田町菅田甲 1954-42
連絡先	担当者名：中野 孝廣 電 話：0893-25-4030
実施箇所	大洲市
事業の概要	木材の地産地消の意識を高めるため、間伐体験会や家づくりの木材活用学習会を開催した。
事業費	事業費：561,693円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：7回 参加延べ人数：194人
状況写真	


〈木をつかう活動〉

整理番号 46

事業名	親子木工教室	
事業主体名	肱東中学校教養部	
代表者名	代表者名：寺尾みさよ	会員：17名
事務局住所	大洲市菅田町菅田甲 1790 (肱東中学校)	
連絡先	担当者名：一宮 一夫	電話：0893-25-2910
実施箇所	大洲市	
事業の概要	地域材を使用したベンチを作製し、地域住民に広く利用される中学校の運動場に設置した。	
事業費	事業費：500,000円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：94人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 47

事業名	親子木工教室	
事業主体名	中野幼稚園・小学校 PTA	
代表者名	代表者名：山内 光郎	会員：124名
事務局住所	大洲市肱川町山鳥坂 527-1	
連絡先	担当者名：石止伊佐美	電話：0893-34-2160
実施箇所	大洲市	
事業の概要	地域材を使用したベンチや本箱を作製し、小学校や公民館などに設置・配布した。	
事業費	事業費：505,372円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：5回	参加延べ人数：86人
状況写真		

〈木をつかう活動〉

整理番号 48

事業名	親子木工広場開催
事業主体名	八西林業研究グループ
代表者名	代表者名：増岡 達郎 会 員：7名
事務局住所	八幡浜市北浜1丁目3番37号
連絡先	担当者名：亀岡 泰次 電 話：0894-22-2031
実施箇所	八幡浜市
事業の概要	木材のふれあいを通して森林・自然への理解を深める木工教室を開催した。
事業費	事業費：450,547円 補助金額：450,000円
活動状況	活動回数：1回 参加延べ人数：119人
状況写真	


〈木をつかう活動〉

整理番号 49

事業名	木材とのふれあい促進
事業主体名	石城レクバレーチーム
代表者名	代表者名：山口 佳子 会 員：11名
事務局住所	西予市宇和町西山田 907-1
連絡先	担当者名：是澤 教子 電 話：0894-62-9780
実施箇所	西予市
事業の概要	地域のスギ材を使用したベンチ等を作製し、公民館などに設置した。
事業費	事業費：500,273円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：3回 参加延べ人数：86人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 50

事業名	親子で木工体験
事業主体名	西予市森林と緑の推進協議会
代表者名	代表者名：三好 幹二 会 員：14 名
事務局住所	西予市城川町下相 945
連絡先	担当者名：富永 時蔵 電 話：0894-82-1111
実施箇所	西予市
事業の概要	木材に触れ森林への関心を高める木工広場を開催した。
事業費	事業費：400,000 円 補助金額：400,000 円
活動状況	活動回数：2 回 参加延べ人数：101 人
状況写真	

〈木をつかう活動〉

整理番号 51

事業名	木材とのふれあい促進
事業主体名	元気みやのうら
代表者名	代表者名：松島 義幸 会 員：15 名
事務局住所	西予市明浜町宮野浦甲 1039
連絡先	担当者名：土居 賢一 電 話：0894-64-1319
実施箇所	西予市
事業の概要	スギ材を使用したベンチ等を作製し、公民館などに配布した。
事業費	事業費：501,544 円 補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：3 回 参加延べ人数：43 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 52

事業名	下川の里山に炭焼き復活を！炭窯づくり
事業主体名	下川地区農業振興会
代表者名	代表者名：西岡 敏明 会 員：20 名
事務局住所	四国中央市下川町 251
連絡先	担当者名：西岡 敏明 電 話：0896-58-8011
実施箇所	四国中央市
事業の概要	放置された里山の整備を地域をあげて取り組むため、発生した材を炭に加工する炭窯を設置した。
事業費	事業費：504,335 円 補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：5 回 参加延べ人数：187 人
状況写真	


〈森とくらす活動〉

整理番号 53

事業名	広葉樹林の整備を通じた森林環境教育
事業主体名	夢遊友うずい
代表者名	代表者名：神野 敬二 会 員：43 名
事務局住所	新居浜市大生院 1599-5
連絡先	担当者名：神野 泰次 電 話：0897-43-3104
実施箇所	新居浜市
事業の概要	児童の森林への関心を高めるシイタケ植菌会を開催した。
事業費	事業費：61,572 円 補助金額：61,000 円
活動状況	活動回数：1 回 参加延べ人数：67 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 54

事業名	別子山地区森林と歴史を学ぶ会
事業主体名	別子山村残しの会
代表者名	代表者名：神野 幸正 会 員：13 名
事務局住所	新居浜市別子山甲 122
連絡先	担当者名：楠本 昌男 電 話：0897-64-2252
実施箇所	新居浜市
事業の概要	旧別子山村の森林で、森林整備の理解を深める森林観察会や間伐体験会を開催した。
事業費	事業費：292,082 円 補助金額：292,000 円
活動状況	活動回数：4 回 参加延べ人数：72 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 55

事業名	石鎚山森の学校 2006 夏
事業主体名	スタジオもみじまる
代表者名	代表者名：黒田 仁朗 会 員：5 名
事務局住所	松山市鉄砲町 1-7
連絡先	担当者名：黒田 仁朗 電 話：089-923-2834
実施箇所	西条市
事業の概要	石鎚山頂周辺の森林で、自然観察会や風倒木の整理などの森林保全体験会を開催した。
事業費	事業費：480,519 円 補助金額：480,000 円
活動状況	活動回数：2 回 参加延べ人数：58 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 56

事業名	森の音楽教室	
事業主体名	オフィスシステムセブン	
代表者名	代表者名：藤田 晴彦	会員：5名
事務局住所	松山市祝谷6丁目1078-8 8 mix 2 D	
連絡先	担当者名：藤田 晴彦	電話：089-923-9919
実施箇所	西条市	
事業の概要	間伐材を使用した楽器作製や演奏を通して自然環境への関心を高めるイベントを開催した。	
事業費	事業費：513,199円	補助金額：506,000円
活動状況	活動回数：3回	参加延べ人数：52人
状況写真		

〈森とくらす活動〉

整理番号 57

事業名	千年の森の自然体験教室	
事業主体名	えひめ千年の森をつくる会	
代表者名	代表者名：鶴見 武道	会員：270名
事務局住所	東温市井内甲915-2	
連絡先	担当者名：鶴見 恵子	電話：089-966-6251
実施箇所	東温市	
事業の概要	児童を対象に下刈、木工、シイタケ植菌などの自然教室を開催した。	
事業費	事業費：431,548円	補助金額：431,000円
活動状況	活動回数：9回	参加延べ人数：545人
状況写真		

〈森とくらす活動〉

整理番号 58

事業名	森と木造の家の饗筵	
事業主体名	ふくさの森の会	
代表者名	代表者名：村上 帛子	会 員：5名
事務局住所	東温市横河原 1285	
連絡先	担当者名：村上 帛子	電 話：089-964-2657
実施箇所	東温市	
事業の概要	地域の元集会所と周辺森林で、森とのふれあい（林業・生活）体験会を開催した。	
事業費	事業費：510,574円	補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：23回	参加延べ人数：283人
状況写真		

〈森とくらす活動〉

整理番号 59

事業名	こども森の学校	
事業主体名	松山こども夢ひろば	
代表者名	代表者名：小泉勇治郎	会 員：20名
事務局住所	松山市朝日ヶ丘 2-1-17	
連絡先	担当者名：三好 康晴	電 話：089-923-4080
実施箇所	松山市	
事業の概要	松山総合公園内の森林で間伐作業を通した森林環境教育を実施した。	
事業費	事業費：499,269円	補助金額：499,000円
活動状況	活動回数：6回	参加延べ人数：192人
状況写真		


〈森とくらす活動〉

整理番号 60

事業名	街の中の“森の広場”
事業主体名	ムッターシュール愛媛
代表者名	代表者名：木原 真巳 会 員：22 名
事務局住所	松山市宮田町 188-8-1302
連絡先	担当者名：木原 真巳 電 話：089-934-1352
実施箇所	松山市
事業の概要	幼児と親に木に親しんでもらうため、クラフト、森のクイズなどのイベントを開催した。
事業費	事業費：518,005 円 補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：8 回 参加延べ人数：598 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 61

事業名	プロジェクト与作 (里山再生プログラム)
事業主体名	チームプロジェクト与作
代表者名	代表者名：伊藤 和貴 会 員：8 名
事務局住所	松山市樽味 3-5-7 (愛媛大学農学部内)
連絡先	担当者名：伊藤 和貴 電 話：089-946-9866
実施箇所	松山市
事業の概要	ベンチづくりを通して木材の循環利用を考える森林環境教育を実施した。
事業費	事業費：488,471 円 補助金額：488,000 円
活動状況	活動回数：4 回 参加延べ人数：89 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 62

事業名	県民参加の森づくり推進
事業主体名	えひめ森林ボランティア連絡協議会
代表者名	代表者名：鶴見 武道 会 員：2,290 名
事務局住所	松山市三番町 4 丁目 4-1-2 F
連絡先	担当者名：井谷 渙郎 電 話：089-941-0164
実施箇所	松山市
事業の概要	森林ボランティア活動への理解と参加を図るための普及活動や技術の向上を図る研修会を開催した。
事業費	事業費：502,921 円 補助金額：500,000 円
活動状況	活動回数：8 回 参加延べ人数：100 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 63

事業名	森の時間その2 森のレストラン
事業主体名	NPO 法人自然環境教育えことのは
代表者名	代表者名：斉藤 智子 会 員：11 名
事務局住所	松山市久米窪田町 443-411
連絡先	担当者名：斉藤 智子 電 話：089-975-6959
実施箇所	松山市
事業の概要	石手川源流の森林で、食材を探して学ぶ森林散策会や森の恵みを生かした料理体験会などを開催した。
事業費	事業費：473,034 円 補助金額：473,000 円
活動状況	活動回数：3 回 参加延べ人数：169 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 64

事業名	森林環境体験教室（親子）の開催	
事業主体名	ボランティアやろーぜ	
代表者名	代表者名：上田 勲	会 員：18 名
事務局住所	松山市三番町 4 丁目 4-1（森林土木協会内）	
連絡先	担当者名：上田 勲	電 話：089-941-0196
実施箇所	伊予市	
事業の概要	えひめ森林公園内に生息する昆虫と森林との関わりから、森林の仕組みについて学ぶ自然教室を開催した。	
事業費	事業費：65,420 円	補助金額：65,000 円
活動状況	活動回数：1 回	参加延べ人数：70 人
状況写真		

〈森とくらす活動〉

整理番号 65

事業名	森林・自然体験活動推進	
事業主体名	森林・自然体験活動連絡会	
代表者名	代表者名：宇都宮東吾	会 員：146 名
事務局住所	松山市東本 2 丁目 7-17	
連絡先	担当者名：宇都宮東吾	電 話：089-932-8991
実施箇所	伊予市	
事業の概要	森林・自然への理解を深める竹クラフト、ネイチャーゲーム、キノコ観察会などを開催した。	
事業費	事業費：481,427 円	補助金額：481,000 円
活動状況	活動回数：7 回	参加延べ人数：659 人
状況写真		


〈森とくらす活動〉

整理番号 66

事業名	森とふれあい・森の恵みのクラフトづくり
事業主体名	えひめ森の案内人会
代表者名	代表者名：福谷 敬三 会 員：40 名
事務局住所	松山市西石井 3 丁目 2-24
連絡先	担当者名：藤岡 照茂 電 話：089-956-1149
実施箇所	伊予市
事業の概要	人工林に侵入した“つる”や“竹”を取り除くとともに、これを活用したクラフト教室を開催した。
事業費	事業費：263,096 円 補助金額：260,000 円
活動状況	活動回数：6 回 参加延べ人数：222 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 67

事業名	出石山緑の宝物図鑑作成と春夏秋冬森の役割観察会
事業主体名	さんきら自然塾
代表者名	代表者名：水本 孝志 会 員：30 名
事務局住所	八幡浜市大平 1-865-2
連絡先	担当者名：水本 孝志 電 話：0894-24-4961
実施箇所	八幡浜市
事業の概要	出石山の樹木・自然パンフレットを作成し、自然観察会や出前環境講座を開催した。
事業費	事業費：489,614 円 補助金額：489,000 円
活動状況	活動回数：13 回 参加延べ人数：247 人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 68

事業名	放置竹林の再生と竹炭をつかった地域の活性化
事業主体名	妄想（孟宗竹）コンドルの会
代表者名	代表者名：宇都宮利治 会員：30名
事務局住所	西予市明浜町大字狩浜（農事組合法人無茶々園内）
連絡先	担当者名：上原 佑貴 電話：0894-65-1474
実施箇所	西予市
事業の概要	拡大する放置竹林を整備し、炭に加工・活用するため炭窯を設置し、児童を対象にした森林教室を開催した。
事業費	事業費：501,921円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：9回 参加延べ人数：105人
状況写真	

〈森とくらす活動〉

整理番号 69

事業名	炭焼き・しいたけ栽培体験
事業主体名	社会福祉法人宇和町社会福祉施設協会希望の森
代表者名	代表者名：内藤 琴江 会員：80名
事務局住所	西予市宇和町小野田 1295
連絡先	担当者名：末光 一也 電話：0894-62-5500
実施箇所	西予市
事業の概要	木材の大切さを森の恵みを体験するため、炭焼きやしいたけ植菌会を開催した。
事業費	事業費：501,460円 補助金額：500,000円
活動状況	活動回数：5回 参加延べ人数：754人
状況写真	

事業名	親子で里山ふれあい事業森林散策と紙すき体験を通じて	
事業主体名	南宇和精神障害者の社会参加を進める会	
代表者名	代表者名：谷口 長治	会 員：1,150 名
事務局住所	南宇和郡愛南町御荘平山 7	
連絡先	担当者名：須田 竜太	電 話：0895-70-4003
実施箇所	愛南町	
事業の概要	里山散策や紙すき体験など森林体験会を開催した。	
事業費	事業費：100,000 円	補助金額：100,000 円
活動状況	活動回数：1 回	参加延べ人数：106 人
状況写真	 <p>The '状況写真' (Activity Photos) section contains three photographs. The first photo on the left shows a group of people, including children and adults, walking along a dirt path in a lush green forest. The middle photo shows a similar scene with people walking away from the camera down a tree-lined path. The third photo on the right shows a group of people gathered around a table outdoors, engaged in a paper-making activity (kizukisumi). They are using various tools and materials on the table.</p>	

資料編

税制度の概要

納める方式	県民税均等割上乘せ課税方式（法定普通税）																		
納める人	県内に住所、事業所などがある個人・法人 （個人県民税及び法人県民税の均等割の納税義務者）																		
納める額	<p>個人 年額500円 <small>年齢65歳以上で前年の所得が125万円以下の者については、平成18年度分は100円、平成19年度分は300円になります。</small></p> <p>法人 県税条例で定める均等割額の5%相当額</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #c8e6c9;"> <th>資本等の金額の区分</th> <th>税 率</th> <th>左のうち森林環境税</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円超</td> <td>840,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>10億円超50億円以下</td> <td>567,000円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>1億円超10億円以下</td> <td>136,500円</td> <td>6,500円</td> </tr> <tr> <td>1,000万円超1億円以下</td> <td>52,500円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>21,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>	資本等の金額の区分	税 率	左のうち森林環境税	50億円超	840,000円	40,000円	10億円超50億円以下	567,000円	27,000円	1億円超10億円以下	136,500円	6,500円	1,000万円超1億円以下	52,500円	2,500円	上記以外	21,000円	1,000円
資本等の金額の区分	税 率	左のうち森林環境税																	
50億円超	840,000円	40,000円																	
10億円超50億円以下	567,000円	27,000円																	
1億円超10億円以下	136,500円	6,500円																	
1,000万円超1億円以下	52,500円	2,500円																	
上記以外	21,000円	1,000円																	
納める方法	<p>個人県民税は市町村が給与所得者は特別徴収、事業所得者等は普通徴収、法人県民税は法人が県に申告納付します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><個人の場合></p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><法人の場合></p> </div> </div>																		
税収の管理	森林環境税は普通税として徴収しますが、その目的を明確にするため、基金に積み立て、基金運営委員会を設置することにより適正に管理します。																		
実施期間	実施期間は5年間とし、期間満了時に見直し・検討を行います。																		

○愛媛県条例第46号

平成16年12月24日

改正 平成17年7月19日条例第46号

愛媛県森林環境税条例を次のように公布する。

愛媛県知事 加戸守行

愛媛県森林環境税条例

(趣旨)

第1条 この条例は、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策に要する経費の財源を確保するために森林環境税を課するため、県民税の均等割の税率に関し、愛媛県県税賦課徴収条例（昭和25年愛媛県条例第21号。以下「県税条例」という。）の特例を定めるものとする。

(賦課徴収)

第2条 森林環境税は、次条の規定により個人の県民税の均等割の税率に加算し、及び第4条の規定により法人等の県民税の均等割の税率に加算して賦課徴収する。

(個人の県民税の均等割の税率の特例)

第3条 平成17年度から平成21年度までの各年度分の個人の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第1号の規定にかかわらず、同号に定める額に500円を加算した額とする。

(法人等の県民税の均等割の税率の特例)

第4条 平成17年4月1日から平成22年3月31日までの間に開始する各事業年度若しくは各連結事業年度又は当該期間における地方税法（昭和25年法律第226号）第52条第2項第3号若しくは第4号の期間に係る法人等の県民税の均等割の税率は、県税条例第13条第1項第2号の規定にかかわらず、同号の表の左欄に掲げる法人等の区分に応じ、それぞれ当該右欄に定める額に、当該額に100分の5を乗じて得た額を加算した額とする。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成17年4月1日から施行する。

一部改正〔平成17年条例46号〕

(経過措置)

2 平成17年度分の個人の県民税に限り、平成17年1月1日現在において、県内に住所を有することにより均等割の納税義務を負う夫と生計を一にする妻で夫が住所を有する市町村内に住所を有するものに係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例の一部を改正する条例（平成16年愛媛県条例第26号）附則第8項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に200円」とする。

一部改正〔平成17年条例46号〕

3 平成18年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（地方税法等の一部を改正する法律（平成17年法律第5号）第1条の規定による改正後の地方税法（以下「新法」という。）の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第3項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に100円」とする。

追加〔平成17年条例46号〕

4 平成19年度分の個人の県民税に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（新法の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る第3条の規定の適用については、同条中「県税条例第13条第1項第1号」とあるのは「県税条例第13条第1項第1号及び愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第5項」と、「同号に定める額に500円」とあるのは「同項の規定により読み替えて適用される同号に定める額に300円」とする。

追加〔平成17年条例46号〕

附則（平成17年7月19日条例第46号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成18年1月1日から施行する。（後略）

(県民税に関する経過措置)

2 第1条の規定による改正後の愛媛県県税賦課徴収条例（以下「新条例」という。）附則第6条の規定は、平成18年度以後の年度分の個人の県民税について適用し、平成17年度分までの個人の県民税については、なお従前の例による。

3 平成18年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（地方税法等の一部を改正する法律（平成17年法律第5号）第1条の規定による改正後の地方税法（昭和25年法律第226号。以下「新法」という。）の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「300円」とする。

4 県は、平成18年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割（新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。）については、新条例の規定中所得割に関する部分（新条例第16条を除く。）を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の2に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第4項」とする。

5 平成19年度分の個人の県民税の均等割に限り、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であった者（新法の施行地に住所を有しない者を除く。）に係る新条例第13条第1項の規定の適用については、同項第1号中「1,000円」とあるのは、「600円」とする。

6 県は、平成19年度分の個人の県民税の所得割に限り、所得割の納税義務者で、前年の合計所得金額が125万円以下であり、かつ、平成17年1月1日現在において年齢65歳以上であったものの所得割（新条例第13条第3項に規定する分離課税に係る所得割を除く。以下この項において同じ。）については、新条例の規定中所得割に関する部分（新条例第16条を除く。）を適用した場合における所得割の額から、当該額の3分の1に相当する額を控除するものとする。この場合における新条例第16条の規定の適用については、同条中「前3条」とあるのは、「愛媛県県税賦課徴収条例及び愛媛県森林環境税条例の一部を改正する条例（平成17年愛媛県条例第46号）附則第6項」とする

○愛媛県条例第50号

愛媛県森林環境保全基金条例を次のように公布する。

平成16年12月24日

愛媛県知事 加 戸 守 行

愛媛県森林環境保全基金条例

(設置)

第1条 水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、生物多様性の確保その他の森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、森林環境の保全及び森林と共生する文化の創造に関する施策を推進するため、森林環境保全基金（以下「基金」という。）を設置する。

(積立て)

第2条 基金として積み立てる額は、愛媛県森林環境税条例（平成16年愛媛県条例第46号）の規定による森林環境税の収入額に相当する額から賦課徴収に要する費用を控除した額で一般会計歳入歳出予算（以下「予算」という。）で定める額とする。

(管理)

第3条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法により保管しなければならない。

(運用益金の処理)

第4条 基金の運用から生ずる収益は、予算に計上して、基金に編入する。

(処分)

第5条 基金は、第1条の目的を達成するための事業に要する経費並びに基金の管理及び運営に要する経費に充てるため、その全部又は一部を処分することができる。

(繰替運用)

第6条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる。

(愛媛県森林環境保全基金運営委員会)

第7条 第5条に規定する事業に関する事項その他基金に関する事項を調査審議させる等のため、愛媛県森林環境保全基金運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、委員10人以内で組織する。

3 委員は、学識経験のある者その他適当と認められる者のうちから、知事が委嘱する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、基金の管理及び運営に関し必要な事項は、知事が定める。

附 則

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿

選任数：10名（男5名、女5名）

任 期：平成17年4月1日～平成19年3月31日（2年間）

（五十音順）

選任区分	氏 名	職 名	備 考
消費者代表	おやまだ けい こ 小山田 敬 子	えひめ生活センター友の会会長	副委員長
環境教育関係者	さい とう とも こ 斎 藤 智 子	NPO自然環境教育えことのは理事長	
学識経験者	しら いし まさ や 白石 雅 也	愛媛大学農学部教授	委員長
木材関係者	たか はし てる くに 高 橋 照 国	(株)大五木材専務取締役	
公募委員	たけ うち よし こ 竹 内 よし 子	NPOえひめグローバルネットワーク代表	
森林ボランティア関係者	つる み たけ みち 鶴 見 武 道	えひめ森林ボランティア連絡協議会会長	
福祉関係者	ひょう どう あさ み 兵 頭 朝 美	「進める会」南宇和福祉リサイクル活動あまなつプロジェクト会員	
林業関係者	ます だ きよし 増 田 清	愛媛県林業研究グループ連絡協議会会長	
漁業関係者	まる ぐち さと み 丸 口 里 美	愛媛県漁協女性部連合会理事	
企業関係者	み き てる ひさ 三 木 輝 久	三木特種製紙(株)代表取締役会長	

森林環境税普及啓発用ポスター・シンボルマーク

ポスター（平成17年10月選定）

<作者>

- | | | | | |
|---|---------|---------|--------------------|------------|
| ① | いし
石 | だ
田 | じゅん
潤 | 今治市立常盤小学校 |
| ② | きく
菊 | ち
池 | やす
安
のり
倫 | 八幡浜市立日土小学校 |
| ③ | なか
中 | がわ
川 | ゆ
友
き
輝 | 県立三島高等学校 |
| ④ | ひら
平 | はら
原 | まい
舞
こ
子 | 県立今治工業高等学校 |
| ⑤ | ふく
福 | だ
田 | あや
礼
か
花 | 県立三崎高等学校 |

①



②



③



④



⑤



シンボルマーク

<デザイン作者>

いけ
池

だ
田

まさ
正

よ
誉

一般

（平成17年10月選定）

<愛称作者>

たか
高

つき
月

ゆう
悠

ま
馬

県立松山南高等学校

（平成18年10月選定）



愛称 E~もりくん

編 集 愛媛県農林水産部森林局林業政策課

〃 森林整備課

〒790-8570 愛媛県松山市一番町四丁目4-2

T E L 089-912-2597

F A X 089-947-1041

写 真 表表紙

森林環境税普及啓発用ポスター

(平成17年10月選定)

(作者：菊池安倫／八幡浜市立日土小学校)

募集

森林づくりフィールド提供者

森林づくり活動者 (企業・県民・各団体等)

愛媛県では、県民の皆さんが森林に親しみ、森林とふれあう機会を創出するため
森林づくり活動を行う場（森林づくりフィールド）と
森林整備等の活動を行っていただく方（森林づくり活動者）を募集しています。
詳しくは、愛媛県森の交流センターまでお問い合わせください。



社団法人愛媛県トラック協会さんが今治市で活動



コスモ松山石油株式会社さんが東温市で活動

お問い合わせ

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2 愛媛県庁
農林水産部森林局森林整備課保護緑化係
TEL 089-912-2597 FAX 089-947-1041
所属URL <http://www.pref.ehime.jp/h35900.html>
所属E-mail shinrin@pref.ehime.jp

〒791-0212 東温市田窪字門田743
森の交流センター（愛媛県林業技術センター緑化センター内）
TEL 089-990-7017 FAX 089-990-7073
所属URL <http://www.pref.ehime.jp/060nourinsuisan/090shinrin/00006366050511/kouryucenter/index.htm>
所属E-mail shinrin@pref.ehime.jp